

あなたがたは、キリストにあって、
満ち満ちているのです。
キリストはすべての支配と権威のかしらです。

(コロサイ 2:10)



ガリラヤ湖上の舟ら約45トンのバイブルミュージアムのアイテムが、NZから日本に！

ハレルヤ！ ロサンゼルス我が家の庭は、今、桃やレモン、オレンジ、アボカド、アプリコット、ザクロと果樹の花が満開です。ザクロ（約15年）以外は、3-7年の幼木ですが、それぞれ去年は、10個（桃、柿、アプリコット）から100個（レモン、オレンジ）ぐらい実をつけています。今年の花の咲きっぷりからすると、どれも一層の豊作が見込まれます。

チャーチ&ホームスクーラーの皆さんの実も、一步一步、結ばれていく姿が見え、とても喜んでいきます。苦難も許されると思います。去年、我が家でもアボカドの幼木が枯れてしまいました。でも新しく植えたアボカドは、今、たくさんの花が咲き、多くの実を結びそうです。子どもたちにも、親として一層愛情と時間を注ぎ、悪いものから守り、さらなる神様との関係や挑戦を励ましつつ、子育てのミッションを、神様の知恵と力で全うしていければと思っています。

お祈りいただきました「バイブルミュージアム」プロジェクト、ニュージーランドから輸入した大

型コンテナ5本、約45トン、7千点のアイテムの保管作業が奇蹟の連続で終わられました。43名のボランティアチームは、5日間の作業を終えて、元気に帰還できました。お祈り、サポートありがとうございました。第二弾のコンテナ2本(コスチューム3千着、ローマ兵の武具等)が、5月中旬に名古屋港に入港予定です。ボランティアの第二陣も募集スタートです。お祈りください。

ホームスクーリングの環境整備を目指して、3月21日に衆参全議員720名の皆さんにマガジン44号『続・多様な教育をめぐる教育機会確保法 — その後の240日間の舞台裏』を贈呈することができました。馳浩前文科大臣や、河村建夫元官房長官・元文科大臣、笠浩史&丹羽秀樹元文科副大臣、浮島とも子元文科大臣政務官の皆さんから推薦のことばも頂いての贈呈となりました。23日には、同法の基本指針についての総会(30日)に招いていただき、チア・スタッフら5名が参加し、発言の機会と良き答弁が与えられました。福音の光と共に、ホームスクーリングの環境整備がさらに進みますようにお祈りください。

18年目を迎えるチア・コンベンションの準備が進んでいます。マガジン45号の制作も含め、お祈りをよろしく願います。皆様へのますますの祝福を祈っています。

チア・につぼん代表 稲葉 寛夫



バイブルミュージアム NZからの第一便(約7千アイテム・45トン) 保管、完了!

日本でのバイブルミュージアム設立のミッションを受けて、ニュージーランドから輸入した聖書関連アイテムの積み下ろし作業が、無事に終わりました。お祈り、ありがとうございました。2月中旬、全国から総勢43名が集まってくださり、仕事は順調に進みました。6日間の目標でしたが、何と5日間で完了。奇蹟の連続という思いの日々でした。

最初の関門は、税関での許可がスムーズに下りるかどうかでした。13mの大型コンテナ5本で、アイテム数は約7千点という、普通はなかなか無いケースとのことで、難しいと言われていました。例えば、同じ種類の服を何万着輸入しても検査は簡単ですが、キリストの時代の生活を再現するわけですから、アイテムは種類も、素材もデザインもまちまちです。海運会社7社に輸入作業の見積もりをお願いしたところ、そのうち2社は、全品検査が必要ということで、期

間は約1ヶ月あまり、コストは約2千万円の見積もりでした。

7社の中で一番好条件を目指してくださったのは、日本の海運会社のトップ10に入る大手で、特に名古屋港の物流をリードするA社で、そこに決定しました。A社の皆さんの素晴らしいご指導の下、輸入書類の作成に3ヶ月をかけ、尽力しました。

昨年11月、膨大なアイテムの荷作りのため、トーマスさん、小原さんと共にニュージーランドに向かいました。トーマスさんは先に帰国する必要があり、私と小原さん(トーマスさんのお弟子さんから独立)は滞在を10日間延ばして4週間にし、現地のチームと取り組みました。それでも、清掃、分別と計量、パッキングと書類作りと積み込みの全作業を、丁寧には終わらせようがありませんでした。状況を見たトーマスさんはA社の皆さんと合議し、第一便(5本のコンテナ)と、第二便(衣料や革製品、武具等、書類制作が難しいアイテムを中心にしたコンテナ2本)に分け、丁寧にパッキング、書類制作をする作戦が与えられました。

私は、二段階作戦で行くという決断がベストと思い、それをプロジェクトオーナーのBさんに提案、承認していただきました。お陰で、私と小原さんは、現地のパッキング会社と共に、白馬セミナー翌日から第一便のコンテナ5本に集中でき、当初3週間の計画を4週間に延ばし、ぎりぎり完了することができました。

コンテナには、ガリラヤの船、オリーブの樹木、ローマの彫像、家具、鉄器、陶器類、神殿の扉、十字架ほか重量級の7千点が積み込まれました。第二便の準備のため再度1月から約3週間、ニュージーランドに向かう必要が出てきましたが、その分、丁寧に書類・パッキングの準備ができました。

そうした渾身の準備をもって迎えた本番ですが、A社のCさんから言われていたことは「全品検査になるかどうかは検査官の判断次第であり、結果は誰にも分かりません」との現実です。これは見積もりした全7社に言われたことでもあります。

Cさんは、「ここまで来ました。この後の結果は誰にも分かりません。祈ってます」と、クリスチャンの私としてはとてもうれしい励ましのお言葉を伝えてくれました。

全国から43名に集まってもらいましたが、もし、全品検査等で日数がかかれば、今回は積み下ろしはできず、保管場所の掃除と準備だけをして、早期帰還ということも考えられます。それで、事前に保護者の皆さんにも伝え、祈ってもらっていました。スケジュールがずれると、丸森チームの皆さんも次回、来られるかどうか、分からなくなります。また、コンテナ全品検査となれば、その費用もかかるため、多くの皆さんに祝福を祈っていただいていたいました。

結論としては、最短の2日間で通関となり、時間もコストもセーブできました。

「無事、通関！」の連絡がCさんから届いたのは、一行が保管場所となる愛知県の廃校に着き、全校舎の掃除に汗を流していた夕方6時すぎのことでした。願っていた火曜朝からのコンテナデバン(荷下ろし作業)が可能になった瞬間でした。

ピーター・ジャクソン監督への売却から、伝道「バイブルミュージアム」の道へ

バイブルミュージアムは今後10年のプロジェクトです。お祈りいただければ感謝です。もともとは、2000年秋から本格的に取り組みが始まったキリストの福音を伝える映画が母体です。2007年、「ロード・オブ・ザ・リング」や「ナルニア」の制作スタッフが加わり、制作準備が進みましたが、映画の規模が膨らみすぎ、予算確保のために、2008年1月のロケスタート直前に中断されていたものでした。

裏を返せば、アカデミー賞受賞やノミネートされた映画の制作陣ら20数名の指揮のもと、約700名のスタッフが才能を発揮し、高レベルの大道具、小道具、衣装等が準備されてきたわけです。最先端の技術と情熱をつぎ込み、しっかりとした歴史考証をした結果、これまでにない大規模なスケールの伝道映画が、整っていきました。「タイタニック」「ターミネーター」など多くの大規模作品を



43名のボランティアたちが、5日間のチャレンジを全うする

手掛けたスタッフたちが、「このような大掛かりなセットやプロップ（小道具等）は見たことがない」と言うほど、巨大なスケールでした。

聖書時代へのこだわりは深く、例えばコスチュームを担当したのは、「ロード・オブ・ザ・リング」でアカデミー賞を受賞し、「ラストサムライ」ら2作品でもノミネートされたナイラ・ディクソンさんらのチーム。当時の機織りの手法に基づいて布を織り、染めるところから始め、約3千着のコスチュームが制作されたほどでした。

しかし、歳月が経ち、アイテムの処分が決まり、最後はすべてのアイテムが、安く買ったたかれていきました。購入者の中には、ピーター・ジャクソン監督もいました。

そうした中で、「バイブルミュージアム」の構想が導かれ、チアにミッションのオファーが届きました。

一人当たり2トン、総計90トンを運ぶ

総重量45トンあまりのアイテムを、怪我なく、期間内に運び込むことも祈りの課題でした。大手ゼネコンとの工事で指導役を任せられることもある明泉学園啓明小学校教頭のトーマス・ブローマンさん、そのお弟子さんとして成長した小原航二さんらをリーダーに、丸森伝道チームら16名の皆さんの指揮の下、ホームスクーラー27名も奮闘、大きな怪我もなく、仕事が進みました。一艘500キロを超える舟や、1枚400キロあまりのチーク材で造られた神殿の大型扉ほか、難作業が予測されました。

保管場所となる校舎付近は山道で、コンテナ車が近づけないため、3キロほど離れた牛舎の原っぱにコンテナ車を駐車させ、3台のトラックに積み替え、ピストン輸送。つまり、積み込み・積み下ろし作業を2回行うことになるので、総計90トンです。クレーン等も使いますが、最後は全部、手で運ぶことになるので、ボランティア人当たり、2トンあまりを運んだ計算になります。その作業を予定より1日早く5日間で終わることができるとは、誰も予想していません

でした。

怪我といえば、一人、D君（15）が釘を踏んでしまい、応急処置をして病院に連れて行きました。幸い、A君は、事前の指導に従って作業用の靴を履いていたお陰で、約5センチの釘は深く貫通せず、医師からも「大丈夫でしょう」と診断をいただき、ホッとしました。その日の午後から、A君は元気に作業に戻れ、皆で神様を讃えました。自宅に戻ったころには、ご両親も釘あとを探すのが難しいぐらい回復していたと、うれしい連絡が届きました。

そのほかは、筋肉痛や肩を痛めたぐらいで、大きな怪我はなく、みんな笑顔で主を讃えて戻れた



神殿の扉は、重さ300～400キロが8枚。
晴天と小春日和の中で無事、作業完了！
5月中旬、第二陣、コンテナ2本へ！

ことも、感謝でした。

5日間、紺碧の空で、小春日和に恵まれたことも大きかったです。出発前日は、東京も雨と寒さの日々が続いていました。上記の通り、牛舎の原っぱでのデバン作業から始まります。もし雨であれば、アイテムはすべて水浸しになり、今後の保存に支障をきたします。また、シートをかけながらの作業では、時間と労力を費やし、寒ければ怪我の確率も増し、体力の消耗も激しかったことでしょう。最終日、下山する1時間前から小雨となり、下山の時は大粒の雨でした。神様がすべてを支配されている、そのことを思わずにはられませんでした。

朝晩、食後には、伝道者の皆さんやホームスクーラーの親御さんから聖書の話をしていただきました。これも参加者みんなにとっても好評でした。ティーンの子どもたちも、真面目で明るく、従順に、必死によく頑張ってくれました。

ホームスクーリングの実！

冒頭に、レモンやアボガドや桃、アプリコットの樹木の成長について書きました。今回、集まった26名の子どもたちは、生まれた時からホームスクーリングで育てられた子どもたちで、この世の影響をほとんど受けずに成長してきた点で、違うものを感じました。

チア・サポート・スクール(CSS)の子どもたちも多かったですが、特に1年前からCSSでは改革を進め、強いところを伸ばし、弱いところを強めています。その成果も見られて良かったし、またCSSに限らず、全国のホームスクーラーの親御さんの、神様にあつての地道な努力が着実に実を結んでいるのだと思い、心から感謝している次第です。

今回、43人分の食事の副料理長を引き受けてくれたホームスクーラーOGのDさん(20)は、中学生からホームスクーリングを始めました。震災ボランティアにもレギュラーで参加。CSSでも頑張りました。でも友達の影響を受けやすい傾向があり、スタッフ陣に心配がありました。堀井卓CSS校長から、このまま社会に出たら信仰面が心配だと相談がありました。その時、私に与えられ

た案は、もし本人やご家族に気持ちがあるなら、丸森の伝道チームで訓練してもらうのはどうだろうかとの思いでした。毎朝4時30分に起きて路傍伝道をする日々から得るものは、とても大きいのではと思ったからです。もちろん、預かる伝道チームにしてみれば、ただでさえ緊張感の中で伝道している日々、ティーンを訓練する責任が発生するわけですので大変です。

リーダーの一人の十三男・ブローマンさんが、「イエス様も『わたしの弟子だというので、この小さい者たちのひとりに、水一杯でも飲ませるなら…報いに漏れることはありません』(マタイ10:42)と言われるし、イエス様を喜ばせることだから」と快諾してくれました。幸いDさんも、ご両親も大賛成でした。Dさんは、そこに生きがいと意味を見出し、伝道生活が2ヶ月となり、1年となり、3年となりました。アメリカで5ヶ月間の伝道留学体験もしました。通信制の大学にも合格し、保育士資格を目指しながら、伝道チームでの伝道を続けています。

今回、43人分の食事を6日間、どうするかが悩みでした。丸森の伝道チームは人手不足で、食事リーダーは来れないとのこと。チア・スタッフも「1日、2日はいいけど…」とのことでした。ダメ元と思いつつ、Dさんに問い合わせしてみました。答えは「OK」でした。以前とはまったく違う、たくましいDさんの姿がありました。さすがに6日間43人分の料理は荷が重すぎるだろうということで、今回の料理長はチルミニでもお馴染みのノリさん、Dさんは副料理長として臨むこととなりました。ほかのボランティアたちを指導しながら作られた食事は、最高で、大好評でした。

Dさん同様、神様のあわれみと恵みが、チャーチ&ホームスクーラーたちの上に注がれていることを思い、その点でも今回大いに励まされました。チアの歩みも18年目になりましたが、特に新たな実を結ぶステージに向かっていると思います。私も悔い改めつつ、そして豊かな実の刈り取りを確信しつつ、一步一步、神様の恵みにあずかる歩みをできればと思いました。

「バイブルミュージアム」プロジェクト、次は5月中旬に、大型コンテナ2本の積み下ろし作業があります。3千着のコスチューム等が主力アイ

テムです。前回のような超重量級のアイテムではないため、今回は丸森の皆さんは数名で、いよいよチアのみんなが作業の主力になります。ボランティアご希望の皆さんは、ぜひ、お申込みください（定員15名）。その積み下ろし作業の3日間、保存中のアイテムを公開させていただこうと思っています。ご希望の皆さんは、チア・にっぽん事務局までお問い合わせください。

ボランティアの子どもたちは全員、その感動を感想文にまとめて送ってくれました。ぜひ、ご覧ください。

衆参全国議員 720 名に マガジン 44 号贈呈へ ホームスクーリングの環境整備を目指して

3月21日に衆参全議員の皆さんにチア・マガジン44号『続・多様な教育をめぐる教育機会確保法 — その後の240日間の舞台裏』を贈呈することができました。「森友問題」で永田町がハチの巣をつつくような騒ぎと緊張感、危機感が高まっていると言われる時でした。

目的は、環境整備であり、「忖度」「許認可」「補助金」や「国有地売買」を求めるものではありません。しかし、「教育」がテーマなので、重なるところもあると言えます。「証人喚問」の2日前に届くというスケジュールで、これはどうしたものかと思い、印刷会社に待ってもらい、法案にチームで取り組んできた伊澤さん夫妻ら関係者内で協議し、もう一度、祈りました。

最終的に「神様が主権者」「時が良くても悪くても福音を届けよう」と導かれ、予定通り進める決断をしました。720人の議員の皆さんに、福音の光が届く稀有のチャンスですし、3年後の法改



5人の前・元文科大臣や副大臣らの推薦状と共に、衆参全議員にチア・マガジンを贈呈！

定も決まっているので大事です。

また、一方的に情報を届けるだけでなく、文教政策の中枢を担っている馳浩前文科大臣、河村建夫元官房長官・元文科大臣、笠浩史&丹羽秀樹元文科副大臣、浮島とも子元文科大臣政務官の皆さんから推薦状を頂いての贈呈です。下村博文元文科大臣も封筒への写真掲載の許可を下さいました。不思議なタイミングでの贈呈となりましたが、逆に、神様のタイミングなのかなと思いました。

贈呈して3日後、超党派フリースクール等議連の新事務局長となった寺田学議員事務所から、議員総会の案内を頂きました。制定された「教育機会確保法」について文科省から基本指針が発表され、それを受けての総会です。私自身は、ロサンゼルスでの仕事で出席できませんでしたが、チアから5人参加させていただくことになりました。それで、以下の3点の発表を、チア・にっぽん特別PTスタッフ（法案・CSS担当）の伊澤恵美さんに託しました。

- ① 今春、教育委員会と面談を行ったチア・メンバーからは、法律が公布されたことで「周囲の理解」が進み、「多様な教育」の在り方として、ホームスクーリングに対する認識・敬意を持った対応が多かったとの声が多数届いた。尽力された議員、文科省、関係者の皆さんに感謝。
- ② 基本指針案を読むと、関係議員の皆さんが約2年苦勞して、3カ所盛り込んだ「多様な教育の重要性を鑑み」といった文言が含まれていない。この点はぜひ、加えてほしい。
- ③ 様々な支援の姿勢は感謝する。一方で、関係議員の皆さんが願っていなかった「行政・教育委員会・学校による各家族への介入」とならないよう、「個の尊厳」の尊重を明確に現場サイドに伝わる指針としてほしい。

総会には、河村建夫会長、馳浩幹事長、笠浩史幹事長代理、寺田学事務局長ほか各議員と、文科省初等中等教育局の藤原誠局長らが参加しました。各議員の皆さんが、プライバシーの侵害等に関して質問。また、不登校団体の方が、沖縄県うるま市で12月、不登校生に督促状が一斉に送付され、「法律によって、登校圧力が高まった」と



超党派フリースクール等議員連盟総会にて。チア・にっぽんより5名が参加（3月30日）。
文科省課長「沖縄県うるま市の登校督促状はまちがい」



河村建夫会長（元文科大臣）
「フォローアップをしていきたい」



馳浩幹事長（前文科大臣）
「関係団体の皆さん、これからも意見を！」

の懸念を寄せました。

文科省の坪田知広児童生徒課長から以下の答弁がありました。「沖縄のうるま市の方で、確か12月15日、まさに法案が交付された翌日の極めて残念な話だと思います。この法の主旨が徹底されていない段階の話とっており、法律も、基本指針も、一律に登校を督促するというような、そういう主旨ではございません。この基本指針が、都道府県市町村を通じて、しっかりとできるだけ早く通知され、学校現場に染み渡ることによって、子どものことを考えないような、主旨に反したことにはなっていないとっており、一日も早くこれを浸透させていかないと、意を強くする次第でございます」。

もし何かあった場合は、こうした文科省の明確な見解を手渡して対応できますので、とても良かったと思います。

伊澤恵美特別PTスタッフは以下の発言をしました。「チア・にっぽんの伊澤です。代表の稲葉はアメリカの方におりまして、来られないものですから、私の方からお話しさせていただきます。

まず、この法案が通り、私どもとしては、教育委員会とのお話もスムーズに進むことが増え、大変感謝しております。それで2点お願いとして、指針に加えていただければと思います。

まず1点目ですが、もともとの法律の条文に『多様な学習』と3カ所入れていただいておりますけ

れども、『多様な学習』という文言が、法律の『基本理念』の記述以外は出てきません。文科省指針の文中に、分かりやすく『多様な学習をしていける自由』と加えていただければ感謝です。

2点目は、既に皆さんからも意見が出ていることと重複するので、特にこれはお答えいただかなくてもいいです。支援していただけることは感謝なのですが、やはり個人の尊厳がありますので、国の介入という形にはなっていないように、今後もそこは留意していただければと思っております。特に1点目のところ、よろしく願います」

文科省坪田課長「多様性につきましては、法律が『多様性について』ということが一番表に出しながら作られておりますので、確かに基本指針の中では、『多様性』とあまり繰り返してはいないのですが、それを具体化する中で、ここでも柱が多様性で、いろいろな場で、家庭も含めて、学校の中、教育支援センター、そして民間の団体、様々なところでというバリエーションを揃えているところが、全体で多様性だと解釈していただければと思います。そういう多様性をまさに担保する法律でありますし、それをさらに少し具体化させていただいて、現場がそれを見て、きっちりと動けるようにした指針を作らせていただいたということです」

これも、今後、「多様な教育」「ホームスクーリング」を展開していく上で良き答弁を頂いたと思います。河村建夫議連会長からは、「いろいろな議論を経て、法律が成立しました。それでよしとせずフォローアップを今後していきたいと思っております。いろいろな地方の動きも出てきていると報告もありました。法の主旨が全うされるよう

に、今後ともよろしく願います」

馳浩議連幹事長は、「また折に触れて、今回のような意見交換会を開かせていただきたいと思います。関係団体の皆さん、ぜひ、これからも大いに意見を出していただければと思います。基本指針については、文科省、今日の意見も踏まえて、4月1日に間に合うように、しっかり進めてください」

坪田課長「はい。分かりました」

前述の通り、学校・教育委員会との話し合いで、マガジン43号、44号の法案特集が効果的に用いられたとの報告も多く届いています。今後の環境整備に向けて、今回の贈呈、総会出席などがさらに用いられていきますようにお祈りください（マガジン44号贈呈のための特別封筒&贈呈のための資料をプレゼント中です〈送料別〉。39ページをご覧ください）。

チア・コンベンション！ ホームスクーリング・ムーブメントの父、 グレッグ・ハリス氏10年ぶりの来日！

いよいよ、6月のチア・コンベンションが近づいてきました。今年の基調講演者は、世界でミリ



2年連続で白馬セミナーで講演後、天に召されたソノさんの思いも胸に再来日する、グレッグ氏（前列中央）

オンセラーとなり、日本でも4版を重ねる『聖書が教える恋愛講座』『聖書が教える結婚講座』らの著者、ジョシュア・ハリスさんらをホームスクーリングで育てたグレッグ・ハリスさんです。グレッグさんは、アメリカのホームスクーリング・ムーブメントの父と言われる一人で、2007年白馬セミナーには奥さんのソノさんと来日くださり、とても好評でした。

日系3世のソノさんは、前年の2006年にジョシュアさん家族と共に白馬セミナーに来てくださいました。2007年には次のように挨拶されました。

「私の心は日本人と共にあり、日本のホームスクーラーと一つです。今回二度、白馬に来させていただき実感しました。私にできることがあれば、皆さんのために何でもしたい。多分、もう招かれることはないかもしれないですが、ぜひ、来たいのです…」(稲葉) いえ、招きますよ(笑)」

しかし、帰国後しばらくして、ソノさんはガンを発病し、再来日はかないませんでした。その後、ジョシュアさんは3千人の教会の牧会を退き、大学の博士課程を修了。双子のアレックスさん&ブレットさん兄弟(やはり売り上げ50万部以上の本を書き、アメリカで行われた「Revelution」という集会で若者10万人あまりを集めた)もパトリックヘンリー大学に入学・卒業後、アレックスさんはハーバード大学院を卒業して最高裁の書記官として、ブレットさんはジャーナリストとして活躍中。4男のアイザックさんは今回講師の一人として、グレッグさんと一緒に再来日してくれます。

私のアメリカの電話には、ソノさんが入れた留守電メッセージがずっと残っていました。アメリカに帰国する日、「日本の毛布、厚くて気持ちいい。買って、アメリカに持っていく」と、10枚ぐらい抱えていく姿を、成田空港で笑顔で見送ったのが最後の思い出です。

Poor & Needy (詩篇40:17 ダビデ王の言葉) だからこそ、コンベンション

最近、「自分たちはホームスクーラー落ちこぼれだから」といった声を聞きました。「僕もいろいろと失敗しているし、チアは基本的に『Poor & Needy』。ダビデ王が自分を『悩む者、貧しい者(詩

篇40:17)』と称して、神様に助けを求めた、その心・姿勢のミニストリーだよ。神様は謙遜に悔い改め、必要を求める者を喜ぶでしょう。逆だったら、危ないでしょう(^-^)。ぜひ、原点に帰って、神様に目を向け、コンベンションに来てください」と伝えました。

聖書でダビデ王が「私は悩む者、貧しい者です。主よ。私を顧みてください。あなたは私の助け、私を助け出す方(詩篇40:17)」「私の主、神よ。…あなたの恵みは、まことに深いのですから、私を救い出してください。私は悩み、そして貧しく、私の心は、私のうちで傷ついています(詩篇109:21、22)」「私は、悩む者、貧しい者です。神よ。私のところに急いでください。あなたは私の助け、私を救う方。主よ。遅れないでください(詩篇70:5)」と繰り返す通りです。

日本への特別な思いを背負って10年ぶりに再来日する、グレッグさんとアイザックさん。18年目のチア・コンベンション、ぜひ、皆さんのご参加とお祈りのほど、よろしくお祈りします。

今年の大阪会場は、地元の皆さんと協議し、5カ所の候補から選抜された会場です。昨夏、下見に行きましたが、緑豊かなさわやかな会場です。ホテルの皆さんはとても好意的で、いろいろとサービスをしてくれています。今年も、良き情報と励ましが満ち溢れる良きコンベンションとなるように、お祈りのほど、どうぞよろしくお祈りします。

支配と権威のかしら、キリストと共に!

困難が許されても、神様が私たちを愛し、一步一步、進ませてくださっていることを覚えます。

「あなたがたは、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです(コロサイ2:10)」。この御言葉が示されます。強い目的をもって、悔い改めつつ、神様に求めつつ、歩めればと思っています。

皆さんへのますますの祝福を心から祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

『チア・にっぽん 44 号 — 続『教育機会確保法』特集号』 720 名の衆参全議員へのあいさつ文です！

衆議院議員、参議院議員の先生方へ

昨年 12 月、多様な教育をめぐる「教育機会確保法」を可決いただき、2 月から施行となりました。

私たち「チア・にっぽん」は、クリスチャン系のホームスクーリング啓発・サポート団体として 18 年あまり取り組んでおります。今回の法案可決は大きな前進であったと思い、とても喜んでおります。

この 2 年あまり、30 名あまりの衆参議員、関係者の皆さんと「多様な教育」「ホームスクーリング」等をテーマに、50 回あまりの個人面談等を重ね、そのインタビュー後半をまとめました『チア・マガジン 44 号』刊行できました。昨年春に贈呈させていただきました『チア・マガジン 43 号 多様な教育機会確保法案 特集号』に続き、衆参全議員の先生方に、私どもからの御礼を込めて、贈呈させていただきます。

安倍晋三総理が、今年 1 月の施政方針演説まで、3 年連続で明言くださった「多様な教育支援」です。3 年後の 2020 年春には、法改定されることも法文化されています。

多様な教育、ホームスクーリングといった方法で成果をあげている子どもたちの教育環境が、基本的人権に基づき、国家による個の尊厳への介入を生じることなく、今後、ますます良い方向で整備されていきますように願いを込め、その課題と展望について、関係議員の皆さんと大変、意義深い討論をさせていただきました。

「国づくりは人づくり」ということで、先生方の今後の教育政策活動に、少しでも貢献できるならばと思ひ、参考資料として贈呈させていただきます。

マガジン贈呈に際し、馳浩 前文科大臣、河村建夫 元官房長官・元文科大臣、丹羽秀樹・笠浩史 元文科副大臣、浮島とも子 元文科大臣政務官から、ご推薦の温かい応援メッセージをいただきました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

「多様な教育」「ホームスクーリング」等をめぐってのご指導、ご質問等ありましたら、どうぞ遠慮なく、私ども事務局にご連絡ください。先生方の国会事務所を、喜んで訪問させていただきます。

各先生方の尊いお働きを重ねて感謝申し上げます。ますますの祝福を心から祈っています。



贈呈 「チア・にっぽんマガジン」44号
—— 続・多様な教育をめぐる
「教育機会確保法」特集号

浮島とも子 議員 河村建夫 議員 下村博文 議員 丹羽秀樹 議員 馳浩 議員 笠浩史 議員
(五十頁編)

- ▶ 30人あまりの議員（河村・下村 元文科大臣、笠・丹羽 元 文科副大臣、林・浮島 元文科政務官ほか）、関係者らと「多様な教育」「ホームスクーリング」等をテーマに 50 回の個人面談等収録、480日間の舞台裏・後編
- ▶ 安倍総理が 3 年連続・施政方針演説で明言の「多様な教育支援」、3 年後の法改定に向けての課題と展望
- ▶ 馳浩 前文科大臣、河村建夫 元文科大臣、笠浩史・丹羽秀樹 元文科副大臣、浮島とも子元文科大臣政務官の推薦のことば入り

マガジン贈答用封筒のキャッチコピーです

チア・マガジン 44号 各議員からの推薦のことば

超党派フリースクール等議員連盟 前座長 / 前文部科学大臣
馳 浩 議員

「一人の喜びをみんなで共有できる教育行政」を私は目指しています。「学校制度の充実と再生」「いじめ／不登校対策・多様な教育の学習環境の整備」は私のライフワークの一つです。これらの取り組みは、将来の日本の成長に大きく寄与すると確信しています。

チア・にっぽんは、ホームスクーリングの全国的なサポート団体として17年間、希望と志に満ちて積極的に歩み、40年の歴史を持つ海外のホームスクーリング団体らと強い絆を築きつつ、全国の家族への支援活動を重ねてきました。

2014年6月に超党派議連が発足し、20回以上の審議を尽くしてきた多様な教育をめぐる「教育機会確保法案」では、チア・にっぽんは緻密な取材を続け、教育現場と関係議員・行政の双方の思いを活かした、実践的で興味深い提案を、情熱的に続けています。

チア・にっぽんマガジン43号、44号にまとめられた、同法案をめぐる永田町を舞台にした1年半のドキュメンタリー特集からは、子どもたち一人ひとりへのサポートを目指す超党派の関係議員、文科省、そして当事者の今と課題、心意気が見えてきます。

衆参両院の各先生方に、今後、この法案について自由にご検討いただく一つの情報として、参考にしていただければと願っています。

チア・にっぽんが今後も子どもたち一人ひとりのために、一層、“気合”を入れて励み続けていくことを、期待しています。



超党派フリースクール等議員連盟会長 / 元文部科学大臣 / 元内閣官房長官



安倍首相は施政方針演説で、個性を大切にする教育再生として「子どもたちを踏まえ、フリースクールの子どもたちへの支援を拡充し、自信を持って学んでいける環境を整えます」と話されました。一昨年の所信表明演説では「多様な学びを国として支援していきます」と安倍首相が話され、法案の準備が加速した経緯もあります。

教育に、今、多様かつ重要なニーズがあります。その声に耳を傾け、応えていくべき時です。学習障害、フリースクール、ホームスクーリング…。賛成、反対、いろいろな意見もあって当然です。忌憚なく議論し、最善の法案を忍耐強く作っていただければと思っただもは21回あまりの議連を重ねてきました。感謝な

ことに、先の国会にて、「教育機会確保法」として可決成立を賜りました。

この過程において、チア・にっぽんは、広い国際的な絆と卓越した企画・取材力をベースに、積極的な提案を私たちに寄せてくれました。17年に亘るチア・にっぽんの献身的な活動は時代を先取りし、家族・教育の在り方へのチャレンジに満ちたもので、大変、参考になりました。私からは「17年間、これほどの活動、よく頑張ってくださいね」とお伝えした次第です。

「教育機会確保法」は、3年後に改正される予定になっています。教育環境の整備を進めるために、様々な角度からの視点・情報取材し、ドキュメンタリーとしてまとめた、チア・にっぽんマガジン44号『特集 続・多様な教育をめぐる教育機会確保法案—その後の240日間の舞台裏』を推薦します。

超党派フリースクール等議員連盟 座長代理 / 元文部科学副大臣
笠 浩 史 議員

「子どもたちの未来のために行動し、明日への責任を果たす!」「人づくりなくして国づくりなし」という政策信念のもと、「教育機会確保法」の制定に、皆さんと取り組んでまいりました。「チア・にっぽん」の皆さんとも、同法が練り上げられていく2年あまりのプロセスにおいて、今日まで、共に尽力してきました。ホームスクーリング支援団体として、国内では最大規模のスケールで、17年あまり積極的、献身的な活動を続けている「チア・にっぽん」を心から推薦します。



その理念として、子どもたち一人ひとりに最善の教育環境を整えたいとの思いは、私自身の思いと共鳴します。国内外での実践の歴史、卓越したネットワーク、情報収集力をもとに、同法案の立法活動においても、具体的で実践的な提案、情報提供に積極的に貢献されました。私自身、励まされ、また、参考にさせていただきました。

今回、可決いただきました同法は、3年後には改正もなされる予定です。そうした中で「チア・にっぽんマガジン43号」の「法案特集」に続き、44号での続編において、立法チームや法案の深層が描かれ、「最善の教育環境」を目指しての、さらなる提案も含め、その道のりが深く取材、レポートされたことは大いなる喜びです。今後とも、チア・にっぽんの活躍、一人ひとりを大切にしていく国際国家としての国づくりへの貢献を、心から祈り、お祝い申し上げます。

超党派フリースクール等議員連盟・夜間中学義務教育拡充議員連盟
立法チーム座長 / 元文部科学副大臣
丹 羽 秀 樹 議員

子どもたち一人ひとりを活かすための環境整備を進める教育機会確保法が、成立となりました。心から御礼申し上げます。



チア・にっぽんの皆さんとは、法案審議のプロセスにおいて、気兼ねなく話し合い、より良き法案を目指して、積極的に論じてまいりました。私自身は、馳先生から座長職を引き継ぐ形で、加わらせていただきました。

法律が制定された今、子どもたちそれぞれの状況に応じながら、しっかりと支援できる体制が整えられるよう、政府はじめ関係者に働きかけてまいります。

未来を担う子どもたちのために、私自身も、一層、心を尽くしていこうと思います。引き続きご支援・お力添えを賜りますよう、よろしくお願いします。

超党派フリースクール等議員連盟幹事 / 元文部科学大臣政務官 浮島とも子 議員

教育は日本の柱。社会のための教育ではなく、教育のための社会づくりを日々全力で。そのような思いで、希望あふれる未来を目指し、歩ませていただいている日々です。多様な教育機会を整備していく「教育機会確保法」は、今日の教育・家族・社会のニーズに応える画期的で重要な法律です。私もこの2年あまり、最優先で立法チームの会議に参加し、取り組ませていただきました。

その日々の中で、チア・にっぽんの皆さんと出会い、ホームスクーリングをめぐる世界の法制度の歴史や、家族・教育の回復を目指して、日本で17年、積極的に、明るく、真剣に学習に取り組んでおられる姿を知ることができました。

この2年の前半の240日間をまとめたチア・にっぽんマガジン43号『多様な教育法案 特集号』に続き、チア・にっぽんマガジン44号『特集 続・多様な教育をめぐる教育機会確保法案—その後の240日間の舞台裏』が刊行されましたことは、大変、うれしいことです。

同法案をめぐる480日間の記録、各先生方との対談を始め、新たな教育法案の深層を描くと共に、「教育」の側面から、歴史の尊い断面が切り取られているのではと思います。

私は、文化・芸術の力による「躍動・感動・ニッポン」も目指しています。チア・にっぽんから刊行された三浦綾子さんの絵本『したきりすずめのクリスマス』は、とても素敵な作品でした。こうした文化・芸術面からも、心を養い育てる姿勢も素晴らしいと思います。

ボランティア活動、英語教育、スポーツも活発に展開され、教育に重きをおいて真面目に取り組んでおられる姿も知り、今後、ますます期待しています。



★ NZ 発「バイブルミュージアム」★ アイテム積み下ろしボランティア第二期募集！

緊張感の中で、主のために、意義ある重労働体験ができる！

体力・メンタル・信仰ほか良き訓練のチャンス！

.....
荷物を運搬して感じてきたことは、
神様の祝福があったこと、
聖書の世界が身近に感じられたこと、
制作された人々の熱意と技術だった。

(神奈川 Aくん)
.....



【スケジュール（予定）】

行き	● Aグループ	5月15日（月）8時10分	チアオフィス 集合
			（東京・西武新宿線 久米川駅徒歩1分）
	◎ Bグループ	15日（月）午後1時30分	豊橋駅集合
帰り	◎ Bグループ	18日（木）午後	豊橋駅解散
	● Aグループ	18日（木）夜	チアオフィス 着

* 現地でのコンベンション書籍準備の仕事もあり。

* 前夜、宿泊が必要な方は、ご相談ください。





【目的】

●キリストに心を向けた「Do Hard Things!」アルバイトでもなく、強いられてでもなく、真摯に伝道の前進を祈りつつ、緊張感ある稀有の重労働！体力・精神力・神様・友との絆を強める3日間！

●山間地の作業現場で、心を育て、メンタル・信仰を強化・研ぎ澄ませられる！

●「バイブルミュージアム」日本での第一歩に貢献！

●エイジング等された7,000点以上の聖書時代のアイテム（映画用に制作）に触れ、聖書の時代をリアルに体感！

【仕事内容】

バイブルミュージアムのアイテムの積み下ろし・掃除・食事準備 その他

【準備品】

○作業できる服装&ゴム付き軍手 ○マスク ○寝袋・暖かめの寝巻き（山中はまだ冷えます） ○防護靴 ○初日の昼食代・最終日の夕食代 ○お風呂セット ○着替え ○保険証のコピー ○聖書 ○勉強道具

【定員】

15名 プラスアルファ（13歳以上）

【ルール】

●負傷・事故を避けるため、現場のリーダー、丸森・チアスタッフの指示には従順に従うこと。●LITルールの順守。●就寝時間後はメンバーと話したり、遊ぶことなく、速やかに就寝。



「バイブルミュージアム」アイテム積み下ろし第二期ボランティア申込書

下記、記入の上、チア・につぼん事務局までご連絡下さい！

➔ Email:office@cheajapan.com FAX:03-6862-8648 TEL:042-318-1807

Aグループ（前泊必要（有・無））

Bグループ

氏名：

年齢：

住所：〒

電話（自宅・保護者）：

Email:

電話（参加者がお持ちであれば）：

備考（質問・連絡等）：

★イエス様の時代を想像しよう★ バイブルミュージアム 祈り&サポーター候補者のための 特別公開スタート！見学者募集中！

5月の積み降ろしボランティア期間中の4日間、保存中のアイテムの公開を行います！どなたでもご参加下さい！

日時：5/15（月）～5/18（木）

場所：愛知県新城市愛郷字平沢2-1
 明泉愛郷スクールにて

➡お申込・お問合せは、チア事務局まで



2/13-17

★バイブルミュージアム★ アイテム積み下ろしボランティア感想文Part.1



ゲツセマネの園のオリーブの樹木

●ボランティアに行けてとても嬉しかったです！最初は「大丈夫かな…？私体力ないし、でも手伝いたいな～」と思い、ちょっと不安でしたが、行ってみたら「やったー！私でも持てる物いっぱいある！もっと手伝いたい！」

という気持ちでいっぱいになりました！皆とチームプレイができて良かったです！

ボランティア中はコンテナから荷物を積み下ろすまでの間は晴れだったので、「神様！感謝します！」と思いました！友達と一緒に食

事のお手伝いに行ったり忙しかったのも、とっても楽しかったです！毎日が楽しく充実したボランティアだったと思います！また、行きたいです！（新潟 Aさん）

●同い年の友だちが3人もいて、すごく楽しかったです。温泉もみんなで楽しかったです。ただ、仕事が早く進み1日減ってしまって、あっという間に最終日になってしまったのがすごく悲しかったです。ジョセフがめちゃくちゃ可愛くて面白かったです。チア・サマーキャンプなどで、またジョセフや友だちに会いたいです！（岩手 Bさん）

●今回ボランティアに参加できてすごくよかったです。もちろん筋肉痛になったり大変でしたが、イエス様の十字架や、水をぶどう酒に変えた壺などを見て本当に良かったです。また、のりさんのご飯がすごくおいしくてサイコーでした。（長野 Cくん）

●ハレルヤ。今回のチア・ボランティアに参加でき、感謝です。郵便局のアルバイトを休めるかどうか分からず、行くべきかどうか迷っていました。その中でアルバイトの休みが取れば御心であると思い、上司に休みたいと伝えました。結果、1日休みが貰え、元から

休みだったもう1日を合わせ、最重量のコンテナの積み下ろしが予定される日程での参加となりました。ボランティアに参加し、毎日、荷物を運び、仕える喜びを感じれるよい3日間になりました。互いに励まし合い、神様の愛の中で働けて感謝です。

（奈良 Dくん）

●今回のボランティア、関西から兄と参加できて良かったです！重たい荷物を運んで筋トレできたり（笑）、みんなで料理できて楽しかったです！あと、関東の友だちもできて嬉しかったです。また自然の中で過ごせて、天気も晴れで、夜はキレイな星を見て、やっぱり神様の創った物って最高やん！って思いました！また次回のボランティアも参加したいです！

（奈良 Eさん）

●楽しく、充実した時を過ごせました！あまりホームスクーラーと会う機会がなかったので緊張していましたが、初めて出会った仲間ともすぐ親しくなり、共に荷物を運べて良かったです。そして、実際にエイジング加工されたものを見て、とてもリアルで驚きました。アイテムを運ぶ際、いつも使っていない筋肉を使ったので筋肉痛がこの文を書いている今でも続いています…。かなり体力が付き、行きより帰りの荷物のほうが軽く感じました！また次回のボランティアも行きたいです。よろしくお願ひします。このプロジェクトが主によって用いられていることを感謝します。

（東京 Fさん）

●チアのボランティアには初めての参加でした。楽しかったですし、学ぶこともあってすごく良かったです。実はボランティアのことを最初に聞いた時は、あまり乗り気では





なく、どうしようかすごく迷っていました。でもそれから親と話したり、ニュースレターを読んだことで思いが変わり、僕が行くことで少しでも力になれるのなら行きたいなと思い、行くことに決めました。今では行って本当に良かったなと思っています。

コンテナからの積み下ろしやゴミの解体作業は、初めての体験で面白かったですし、他のホームスクーラーや丸森の人たちと長い時間過ごすことでお互いのことが分かり、仲良くなれたこともすごく良かったです。あとは毎食事後の聖書の話で、いつもはあまり聞けないような人たちからの話も聞いて、嬉しかったですし、何よりみなさんが僕たちに向けて、僕たちのために話してくださっているのがすごく嬉しかったです。

このようなボランティアの機会を与えてくださってありがとうございました。チアのスタッフのみなさんもすごく忙しい中なのに、同じように参加して働いて本当にすごいなと思いました。残り2つのコンテナ下ろしもできるだけ参加したいと思っているので、またよろしくお願いします。（長野 Gくん）

●ボランティアに参加して、特に印象に残っ

たことが二つあります。

一つ目は、積み下ろしたアイテムのエイジング加工の技術の高さです。ニュースレターにもエイジング加工については書かれていましたが、どのようなものか分からず、てっきりアイシングのような何かを塗っているくらいのものなのかと思っていました。しかし、現地で自分が運んでいるものを観察していて、やっと理解できました。公園の古いベンチを改造して作ったような家具や、オレンジ色に見事にさびついた鎖など、

言葉で表現できないのが残念なくらい高度でした。

二つ目は、自分のある一面を知れたことです。それは、「自分のやりたくない仕事を避けようとするずるさ」でした。食器洗い、トイレ掃除は特に避けて、その仕事には選ばれないようにしていました。ボランティアをしている間は、その行動を何とも思いませんでしたが、家に帰って回想してみると、自分がやっていたことのずるさに気づきました。その上、日常生活でもよく似たことを行っていたのです。例えば、自分の事を棚に上げてよく弟の行動を注意していました。振り返ればそのようなことをした結果、他の男子たちと離れて仕事をするようになったり、ボランティアの期間、自分の気持ちが普段より何だか寂しかったこともありました。僕はその罪を認めて悔い改めました。そして日常生活から改めていこうと思いました。

このボランティアで、自分の良くないところを神様から教えられて感謝でした。次回はもっと神様の役に立てる者になりたいです。ボランティアに参加できて良かったです。スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

（埼玉 Hくん）

●「神様の計画」

今回のボランティアは本当に祝福された時でした。その中で、神様の大きな愛と計画に感動を覚えました。きっかけは母に勧められたからなんです。私は最初は全然行く気にはなれませんでした。でも母に、「祈って、それから決めなさい」と言われ、祈って、聖書も読んで、その週の教会のメッセージを聞きました。メッセージのタイトルが「神の御心に従う」でした。メッセージを聞いて、「仕える」という言葉が心に留まりました。神様に【行ってみなさい】って言われてる気がしました。この時に、行ってみよう、仕えてみよう。思いっきり働いてこよう！と思い、行くことを決めました。

実際行ってみて、神様に泣きそうなくらい祝福されました。仕えることの素晴らしさとか、みんなで協力し合っていないと1人じゃなんにもできないんだって思わされました。なかなか会えない大阪の子とも仲良くなれたし、普段あまり話さない友達と話すことも出来ました。女の子たちと、のりさんと、元シェフさんとみんなで40人分のご飯を炊いたりおかずを作ったり。大変だったし疲れたけどすごい楽しかったです。

2日目は、荷物運びでめったにならない筋肉痛にもなれました。体はバキバキだったけど、今日も頑張ろう！って思えました。聖書に出てくる籠とか、壺とか、お皿とか。弟子達が、イエス様が、使ってたかなって、運びながら、整理しながら想像するのもすごく楽しかったです。本物みたいでワクワクしました。リレーで荷物を運ぶのも、みんなで温泉に行ったのも、みんなでご飯を食べたのも、トラックに乗ってキャアキャア言ったのも、楽しかったです。『5本もあった大型コンテナを5日で終わらせられた。みんなで頑張ったから出来たんだ。誰も大きな怪我をしなかったし、神様すごい。』凄く凄く祝福されました！

家に帰ってきて、感じたこと、思ったこと、神様はこんな風にしてくれたよ、行って良かったって母に言って、色々思い巡らしていた時に、母に言われました。「神様はあなたをただ祝福したかったんだね」。神様、あなたを体感できたこと、ありがとうございます。ちょうど次の日曜日が英検面接の日で、1週間潰れるから勉強できないなって覚悟していたのに、1日早く帰れて勉強する時間が与えられました。そして受かりました！神様ホントに感謝します！

5日間、神様の大きな愛に囲まれて、素晴らしいタイミングと、経験と、与えられた友達を通して、神様の祝福にあずかれて本当に良かったです。もしまたボランティアがあれば、絶対に行きたいと思います！「主が、ことごとく私に良くしてくださったことについて、私は主に何をお返ししようか。」詩篇 116 篇 12 節 神様の愛を実感しました！

(東京 Iさん)

続きは次号へ・・・



★★★★親の皆さんから★★★★

●このたびは娘が、大変、お世話になりました。御指導のもと、仲間たちとの仕事にやりがいを感じて帰ってまいりました。普段の生活では体験ができない日々に、感動をもって過ごせた様子です。主に感謝します。

家でのお手伝いの姿勢に変化があって、前よりも、返事ひとつで気持ち良くしてくれる姿に嬉しい思いをしています。ミラクルな主の御業の日々に感謝しつつ。(新潟 Aさん)

●大変お世話になりました。良い機会を与えてくださって感謝します。実際に身体を動かして、体験的に神様と人に仕えることを学んだようです。また、今回の作業はチームワークも必要で、皆さんと一緒に実際の力を出し合えたのは、ものすごく貴重な体験だったようです。

今の社会では、こういったことに真摯に取り組む方がカッコ悪いかのような風潮もあると思いますので、ホームスクールの恵みを感じます。また、信頼できる方々の元でのことなので、安心して送り出せることが親にとっても恵みです。皆様の尊いお働きに十分な祝福がありますように、お疲れがいやされますようにお祈りします。(神奈川 Bさん)

●ハレルヤ！主の御名を賛美します。娘が無事帰宅いたしました。ボランティアはとても楽しかったそうです。今日も色々話していましたが、まだまだ話し足りない様子です。明日、続きを聞かせてもらおうと思います。

通関で神様が奇跡を起こしてくださったこと、子どもたちも、大人の皆様も皆無事で、全ての行程を終えたこと、本当に感謝です。細かいところまでも、ご配慮くださって、本当にありがとうございました！皆様の上に神様の豊かな祝福がありますように。

(岩手 Cさん&Dさん)

●ハレルヤ！バイブルミュージアムのための積み下ろしと整理作業、大変お疲れ様でした。長女が大変お世話になりました。とてもとても楽しかったようで、「帰りのバスの時も、帰りたくなかった」と言っていました。多くのエピソードを楽しそうに熱く語る娘の姿を見て、本当によい時を持たせていただいたのだなと感じています。これも皆様の多くの準備と導き、積み重ねられたお祈り、そしてそれに応え、全ての時を守り支え、懸案だったコンテナ通関の扉すらも開いてくださった主によるものです。本当にありがとうございました。どうか疲れが完全にいやされ力が与えられますように。それぞれの、またチアのお働きに、主の祝福、恵みが引き続き豊かにありますように！感謝して。

(東京 Eさん&Fさん)

続きは次号へ・・・

慶應義塾大学 赤林・大垣教授から 「世界観の経済行動への影響」研究に ご協力への感謝とお願いです

2011年より2014年まで毎年と2016年の白馬セミナーで、また2013年より2015年まで毎年コンベンションでも同様の研究を実施し、多くの方にご協力いただき、心から感謝しています。次回はチア・コンベンション2017の参加者の皆さんに、私どもの研究へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける方には、アンケート調査とともに、親子でゲーム式実験に参加していただきます。協力謝金をお支払いします。アンケートと実験結果は研究目的以外には使用しません。詳細はコンベンション参加者の方に郵送いたします。(今年は白馬セミナーの実験予定はなく、年に1度の機会です。)

Keio University



お問い合わせは、慶應義塾大学 大垣研究室

メール: mogaki@econ.keio.ac.jp 電話: 03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授
大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授

CheaJapan 2017 CONVENTION チア・コンベンション

大阪：6月2日（金）・3日（土）

ホテル・ロジ舞洲（NEW!）

（大阪府大阪市此花区北港緑地2-3-75）

東京：6月9日（金）・10日（土）

国立オリンピック記念青少年総合センター

（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

家族・教育の聖書への回復！どなたでも大歓迎です！

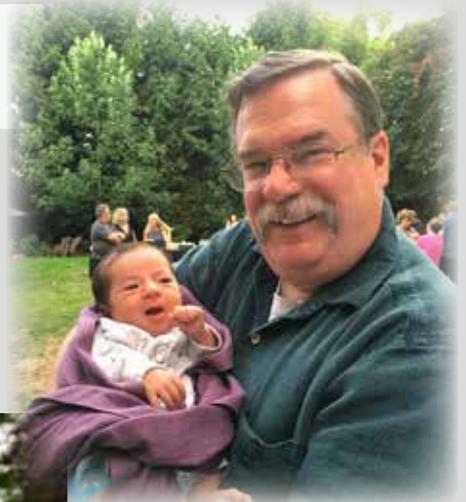
昨年参加 800名！ 講師約35名、約70の基調講演・分科会！

★ 聖書が教える教育の本格派コンベンション ★

主講師：Gregg Harris

グレッグ・ハリス

「聖書が教える恋愛講座」のジョシュア・ハリスのお父さん。全米で200万人を超えるホームスクーリングムーブメントを導いた、パイオニアの一人として広く知られている。ベストセラーとして読み継がれている「チャーチ&ホームスクーリング入門」の著者。



ソノ夫人（日系3世）と共に、ジョシュア・ハリスをはじめ7人の子どもたちをホームスクーリングで育てた。2007年白馬セミナー基調講演者。約10年ぶりに再来日！今回は、息子さんアイザックさんも共に来日されます。



グレッグさんの7人の子どもたち

**グレッグ・ハリス氏 講演テーマ：
「困難に挑戦する子どもたちを育てる」**

« 基調講演① »

●「なぜ、困難なことに立ち向かう子どもたちを育てるのか？」

Why Raise Kids To Do Hard Things?

私たちが、困難なことに立ち向かうように子どもたちを育てるべきか、その理由を検証します。

«基調講演②»

●「良い木 Vs 悪い木」

The Good Tree Vs The Bad Tree

実生活を変える聖書的信仰がない、本物とは言えない、名ばかりのクリスチャンでいる危険性について考えます。

【分科会①】

●「あなたが子どもたちを楽しませようになるまで訓練する」

Train Them Until You Like Them

自分の子どもたちを（愛するだけでなく）楽しむこと、また、毎日の生活の中で一緒にいて楽しい人物に成長できるように訓練することの重要性について考えます

【分科会②】

●「子どもたちを巻き込む価値のある、冒険に満ちた人生を送る」

Live An Adventure Worth Including Them In

困難なことに立ち向かう良き模範となることの重要性を考えます。

【分科会③】

●「子どもたちの退屈を楽しいことに活用する」
Harness Their Boredom With Delight

よくある退屈感や孤独を用いて、子どもたちに困難なことに立ち向かわせる戦略を作り上げていきます。

【分科会④】

●「子どもたちの分野において、賢者ソロモンを見つけ出す」

Seek Out The Solomon in Their Field

10代の子どもたちを、困難に立ち向かおうと動機づけさせる、自分と同様、困難に立ち向かっている模範者、ヒーローを見つける方法を考えます。その人物との実際の関係を構築する重要性を確認します。

【分科会⑤】

●「単なる消費者でなく、プロデューサー・企画者・生産者として育てる」

Raise Them to Be Producers, Not Just Consumers

簡単なビジネス・プロジェクトや週末の体験を用いて、私たちの10代の子どもたちに、経済社会において誰かのために良いことをすることで、どのように良い結果を生み出すことができるかを教えることの価値について検証します。

【分科会⑥】

●「子どもたちにもっと多く、より良いものを期待する」

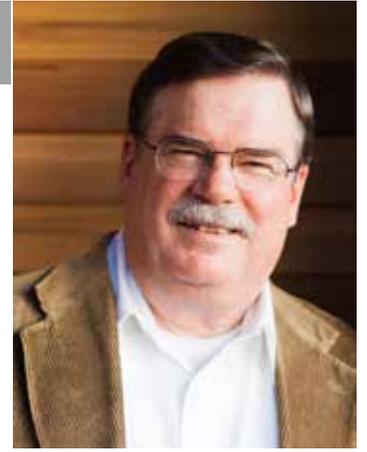
Expect More & Better Of Them

私たち親が自分の子どもたちに対して持つことのできる否定的な期待と建設的な期待の力について明らかにし、私たちの悪い習慣や態度から抜け出す方法を学びます。

チア・コンベンション 2017 来日記念 特別寄稿

困難に立ち向かうように 子どもたちを育てる理由

.....
グレッグ・ハリス



C.S.ルイスは、かつて次のように述べました。「私たちが多くを望んだからといって、神はそんなに気分を害されることはない。なぜなら、私たちはほんの少しの望みで満足してしまっているのだから」と。神は、キリスト者としての私たちの人生に最高の冒険を提供してくださっているというのに、私たちは、生ぬるい宗教的日常生活に満足していることはないでしょうか。

多くの親が、実際のところ我が子に多くを望んではおらず、この世の言う成功に甘んじている気がします。しかし、神は、私たちに高い目標を持っておられるのです。我が子のわずかな才能にスポットライトを浴びせようと躍起になっているステージ・ママとは違います。優れた宝石職人が、金、銀、宝石などの希少な原石の価値を知り、最良に磨き上げようとするように、神は子どもが持っている潜在力を理解し、その使命を果たさせようと高い志をもっておられるのです。私の7人の子どもたちは、お金では買えない宝物であり、私はそれぞれの子どもに、神が与えてくださる最高で最善のものを望んでいます。

では、高い目標を設定するとは、どういうことでしょうか。困難に立ち向かうように子どもを育てることで、私は一体何を達成しようとしているのでしょうか。

子どもたちが、十分読めるようになることでしょうか。いいえ、それでは満足しません。子どもたちには、時代を超えて偉大な著者たちと親しく語り合い、神が歴史の流れを変えるために用いた、過去の深い考えや真理を理解してほしいので

す。真に優れた書物、何より聖書を熱心に読む子どもたちになるよう励ましましょう。

息子や娘たちが単に正しいスペルで書けるようになれば、私は満足するでしょうか。いいえ。子どもたちには、それぞれが活躍する分野で熱心に取り組んでいる人たちと連絡を取り合うようになってほしいのです。もし文才があるなら、現代の重要課題に関する、知的で見事な書物を執筆させましょう。公私を問わず、多くの本を書く著述家へと導きましょう。誰かの書いた言葉を引用できるようにしてほしいですし、また彼らの書いた言葉が引用されるようになってほしいです。

単に筆記試験に合格するために、子どもに歴史を学ばせたいでしょうか。いいえ。子どもには、自分が生きている時代を理解し、銀行口座や投票所、そして実社会の戦場で直面するであろう人生の本当のテストに合格してほしいのです。

教育とは、単なる学問以上のものであり、道徳的人格を形成するものです。自己鍛錬は流行遅れかもしれませんが、決して役目が終わったわけではありません。子どもたちが単に優しく、態度が良く、ピア・プレッシャー（仲間からの圧力）から守られればいいとは、私は全く考えていません。C.S.ルイスの『ナルニア国物語』に登場するアスランは、ただの飼い慣らされたライオンではなく、正義のライオンです。私も自分の子どもたちには、ただのおとなしい人ではなく、正義の人であってほしいし、謙遜で伝道の心を持つ人間になってほしいと思っています。神を恐れない人たちの心を

神に向けさせるほどの影響力のある人に育てましょう。

では、結婚と子どもについてはどうでしょうか。私は子どもたちが皆、結婚することを望んでいますし、ジョナサン・エドワーズのように、忍耐強く、深く神に献身した大家族を築いてほしいと願っています。子どもたちの各家庭が、キリストの大使のチームとして献身し、輝くようにさせましょう。

経済面はどうでしょうか。子どもたちがいつか良い仕事に就けるなら、その会社の勤務体制がどれだけ大変で破壊的であっても、それで良いと言えるでしょうか。いいえ。私は、子どもたちがファミリー・ビジネスを始めたり、起業家になったりして十分な収入を得るのを見たいと願っています。今日、何百万という学生たちが、きちんとした仕事が見つかるようにと祈っているのです。それならば、我が子が彼ら全員を雇えるぐらいになるように、準備をさせるのはどうでしょうか。

一番大事な点は、もし子どもたちがまだ罪の中に死んでいて、神の約束から遠ざかっているなら、学業、道徳的人格、しっかりした結婚生活、大家族、経済的自由といったものは重要ではないということです。「罪にふけている世俗的な人間」を育てることがないように、神が私を助けてくださるよう願っています。キリストにある救いは、究極的に重要なことなのです。

偉人伝を読めば読むほど、敬虔な親は違いをもたらすことに気づきます。「三つ子の魂百まで」とあるように、子育てに賢く熱心に取り組むなら、子どもたちは同世代にキリストの影響を与える特別な存在となるかもしれません。でも、もし年老いたエリのように子育てに受け身で怠慢であるなら、私にとっても子どもにとっても悪影響を与えるでしょう。正しいことが何かを知っていることと、正しいことを実行することとは違います。行いのない信仰は死んでいるのです。信仰者であっても時に嘘を正当化してしまうほど、エリ精神は私たちの心に影響を与えています。自分のなすべき義務を理解し、神に従うことができるように私は神の恵みを求めます。

救いは聖別につながっていくはずですが、私は父親として、聖別においても担うべき役割があります。子どもたちがキリストへの信仰を告白し、私と一緒に教会に行くだけでは十分ではありません。生ぬるい者では役に立たないのです。私は、子どもたちの魂の暖炉で豊かに燃える、神の臨在に対する情熱の炎が見たいのです。子どもたちがキリストの弟子の心を持って育ち、御霊の実を結び、いつかリーダーとして仕えるにふさわしい者になり、共同体に必要なが生じた時には、勇気と信仰をもって神の国をしっかりと立て上げてほしいと願います。

「社会性はどうなのか？」と質問する人に対しては、ただ嘆くばかりです。社会性は、昔から両刃の剣でした。「知恵のある者とともに歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害を受ける」(箴言 13:20)。年齢によって分断された社会性は愚かで害のあるものです。無知な仲間同士が集まると、服装、音楽、映画、そしてメディア消費などで愚かな選択をするようになります。それは文化的弊害にとどまらず、道徳的な弊害をもたらします。良識を失った若者文化という波に乗って、愚かさが次から次へと押し寄せて来るのです。

健全な社会性は、家庭や職場や教会において、自分より年上で知恵のある親、また家族と共に生活する時に育まれます。知恵のある者とともに歩むことはライフスタイルであって、プログラムではありません。それは、「昔からの通り道、幸いの道」(エレミヤ 6:16)なのです。このようにして、それぞれの世代が次の世代を、神の持つておられる最高と最善に向けて導くことができるのです。

神の最高と最善——それこそが私が子どもたちに願っていることであり、子どもたちを困難に立ち向かうように育てる目的です。厚かましく聞こえたら許してください。でも、子どもたちがただ救われて回心し、教会の椅子に座っているだけの人間になってほしくないのです。伝道者と改革者の中に子どもたちが立つことを私は望んでいます。

それではコンベンションで皆さんにお会いできることを期待しています。

【分科会】(五十音順・敬称略)

■「経済実験(慶應義塾大学、予約)」
(大阪・東京会場) 赤林 英夫・大垣 昌夫

■「ホームスクールだからこそできる！
英語脳の作り方！」
(大阪・東京会場) 伊澤 聡一郎&恵美

6年前、ホームスクーリング開始と同時に GrapeSEED を始めたわが家。張り切って始めたものの成果がなかなか見えず、何度も挫折しました。しかし、試行錯誤を繰り返して、わが家なりの方法を見つける中で、5歳～15歳の4人の子どもたちは全員、英語で話し、英語の映画やペーパーバックを自然に楽しむようになりました。最初の数年は、自分の子どもが英語を話す日が来るとは想像すらできませんでしたが、今では、自由に時間を使えるホームスクールであればこそ、英語脳は育てられると感じています。多読多聴、スカイプ英会話等、GrapeSEEDに加えて実践してきた取り組みやこれまでの成長の過程をご紹介します。(2016年の分科会のアップデート版です。)

■「教会を建て上げるホームスクーラー」
(大阪会場) 伊藤 義和&こずえ

私たちがホームスクーリングを考え始めたころから今日に至るまで、いつも中心には「教会を建て上げる」願いがあります。ですから、開始当初は、教会の皆さんの理解を得るための最大限の努力を惜しまず、現在も、家族総出(笑)で、主の教会を建て上げていく働きを中心に、ホームスクールが導かれています。とはいえ、日常に追われ、家族のことや勉強の進み具合で頭がいっぱいで忙しく、教会のことや兄弟姉妹のことまで心や思いがいかないことも多くあります。毎日の生活や近況の話を交えながら、勉強スケジュールと教会プログラム等の優先順位、時間配分とバランス、数多くの失敗談からも分かち合うことができればと思っています。

■「チャーチ&ホームスクーリング
-必ず聞かれる20の質問」
(大阪・東京会場) 稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるチャーチ&ホームスクーリングって？」。この17年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

■「天のお父さん最高！」
(大阪会場) 乾 亮介&奈々

私たちが初めてチアコンベンションについて、ホームスクールについて知ったのは、2003のHAZAH 7月号でした。あれから、このホームスクールという旅が始まりました。(現在息子は18歳、娘は16歳) 私たちはどこにでもいる日本人の普通の家族です。でも、一緒にいてくださる天のお父さんは最高の方でした！「主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。…主はその愛する者には、眠っている間に、このように備えてくださる。」このお父さんがしてくださったことをシェアしたいと思います。(皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！)

■「わたしの恵みはあなたに十分である。Ⅱコリント12:9-弱さの中に完全に現れてくださる主-」
(東京会場) 井上 正人&知恵

長女の子育てに悩みクリスチャンとなり、不登校を通してホームスクーリングに導かれた井上ファミリーの歩みを、母と娘の関わりを中心にお

話します。24 歳になり、アメリカでバレエ修行中の長女こづえも、現在の思いをお話させていただきます。

■「違いを生む子育てを目指して」

(東京会場) 植野 伸一&愛

3 人の子どもたちとのホームスクールの現状をお話します。そして、I サムエル記 2-3 章に描かれる幼少期のサムエルからクリスチャンホームの子育てにおいて大切なことを共に学びたいと思います。

■「聖書に基づく地球史(1) : ヨブと氷河時代」

(大阪・東京会場) 宇佐神 実

氷河時代はあったのでしょうか。あったなら聖書の歴史でどこに当てはまるのでしょうか。実はヨブが生きていたのは氷河時代であったことを示唆する記述がいくつも記されています。この話を通して子供に氷河時代を尋ねられてもきちんと答えることができます。聖書に基づく地球の歴史を学んでみませんか。

■「聖書に基づく地球史(2) :

聖書に基づく地質年代」

(大阪・東京会場) 宇佐神 実

創造主の存在や聖書を信じない科学者は、地層を進化論に基づいて何億年もの歴史の証拠だと考えました。しかし、聖書に基づいて考えるなら、同じ地層を聖書に出てくる出来事の証拠であることをはっきりと示すことができます。天地創造の時、ノアの洪水の時、その後にできた地層がわかると、子供にも自信を持って地質年代表の時代区分が間違いであることを示すことができます。聖書に基づく地球の歴史を学んでみませんか。

■「文化の中味を入れ替える」

(大阪会場) 大久保 みどり

日本人は救われるのは難しくないけれど、信仰

生活を継続するのが難しいとされています。文化、伝統との戦いが大きいことがその一因と言えます。未来を担う子どもたちが日本文化の伝統を単に踏襲する、あるいは壊すと言うのではなく、伝統を踏まえながら、よりよい伝統を生み出していく。真理と愛を握っているのはクリスチャンなので、全てを生かすことができる筈なのです。そういう教育ができればと願います。日本人は形から入り形を重んじますが、中味がありません。中味を入れ替えることがクリスチャンにはできるので、希望があります。

■「子その行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。箴言 22 : 6」

(大阪・東京会場) 太田 仁一

神は 3 歳ごろから 12、13 歳ごろまでの子どもに大きな、すばらしい力を与えられました。例えばこの時期に幾つかの言語を学ばせることができれば、その言語はその子にとって母語と同じように読み、書き、話すことができるようになります。音楽、スポーツなどもその目的があれば、この時期に始めるのは意味あることです。この大切な時期に子どもに何を教えるか、私たち大人が責任をもって考えなければなりません。

■「ホームスクールの教材について

— 高学年から中学生」

(大阪会場) 竿代 健

始めたころは、まだ幼児だった子どもたちも、いよいよ長男が中学生になる年齢になりました。通信教材や問題集など、色々な教材を用いて勉強してきました。高学年からぐっとレベルが上がり、英語も加わり、勉強に対応するため使う教材も変化がありました。今回は、教材にだけの的をしばり、ベネッセなどの通信教材、くもんなどの問題集、スタディサプリなどのインターネット教材などの特徴を簡単にまとめてお話したいと思います。また、私も模索中ですので、お勧めの教材を紹介していただく場や、使用されている教材の感想など

の意見交換の場になれば、と思っています。

■「お父さん集まれ!

(男性限定、将来のお父さんも参加可)

(東京会場)

志賀 信泰

ホームスクーリングを始めて6年目に突入しました。これまでに多くのホームスクーリングパパとお知り合いになりましたが、じっくりお話をすることが出来た方は非常に限られています。この分科会ではお互いの自己紹介をしっかりとした後、ホームスクーリングパパ特有の悩みを中心に分かち合う時を持ちます。お互いの悩みに対して解決策を示し合うのではなく、まず共感することを大事にします。この時を通して、今後深い話ができるお父さん同士のネットワークが育つことを願っています。性教育の話もざっくばらんにできるように、誠に勝手ながら今回は男性限定の試みとさせていただきます。

■「正しい歴史観をもつために

(学校で刷り込まれる歴史観)

(大阪会場)

末宗 宣行&百合子

明治時代から終戦まで、国家のために命を捧げるような洗脳教育が学校でなされてきました。学校教育の中で、教育勅語等が用いられ、思想教育が徹底的になされました。現在、教育も含めて、再び明治時代の政治体制に戻そうとするような風潮があるのを皆さんも感じておられるのではないのでしょうか。私たちの住んでいる広島県では、今でも、戦争の爪痕を実際に見ることができます。チャーチ&ホームスクーリングの子どもたちは、真っすぐな目で歴史を見つめ、歴史の中にある真実とファンタジー的な偽りの領域を見分けながら学ぶことができます。そして国、地域のための確にとりなし、祝福を祈る働きが委ねられていると信じます。

■「親子で実践できるプレゼンテーション」

(東京会場)

関 智征&知香

日本の教育は、「読み書き算盤」が重んじられてきました。他方、話す訓練が軽んじられてきました。私自身、長らく人前で話すことが苦手でした。しかし、仕事上、人前で話さざるを得ない状況の中に追いやられました。その中で、適切なトレーニング次第で、自分の想いをより相手に伝えられることを体験してきました。説教、大勢の前でのスピーチ方法など、共に学べたらと思います。「1分スピーチ」ワークショップも行います(ワークショップは先着10名)。

■「気がつけば、今年ホームスクール9年目に突

入!!すごい、これこそが神の恵み、神の導き

(大阪会場)

竹橋 賢一&祐子

ホームスクールを始めると決心した時から現在に至るまでの間、父として主に信頼して従った時に受けた様々な祝福などを、お話させていただきます。(賢一)

私自身が驚きですが、気が付いたらホームスクーリング9年目になります。当初、子どもたちをどの様に育てていくのか!?ということについて、重大な責任を感じていた私でした(もちろん今もですが)。ちあ・にっぽんのお働きのおかげで、ホームスクールを知り、何の取柄もない私に、「だから、私が必要なんですよ!」と主が語って下さったように感じ、途中幾度も挫折しそうになりました。まだ、道のりの途中ですが、ありのままの私たち家族のホームスクーリングをお話出来たらと思います。(祐子)

■CSS(チアサポートスクール)

ーホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法!改革365日めのワクワクレポート!

(大阪・東京会場)

稲葉寛夫・堀井卓・伊澤聡一郎&恵美

CSSは、全国のホームスクーリングムーブメントの推進を祈り、親と連携し、「魂の救い」、「キリストの弟子のこころを与える」、「伝道・世界宣教」の目的に向かって、ホームスクーラーの弟子訓練と勉強をサポートしています。「ホームスクーリン

「グは神様が授けてくれた最強・最新の教育法」を
 モットーに、その果実の効果的な収穫を目指しま
 す。分科会1は、CSS チャレンジ編と改革1年を
 経ての最新情報です。まずは、365日の全体像。
 新体制での再スタート・通信制ファミランの拡充
 & バイブルミュージアム・ボランティアについて。
 1. CSSの目的・天国と伝道と勉強、2. 英数先
 行学習（英語多読&体系数学）、3. 理社の論述、
 4. ロードマップ作成とフォロー（ウィークリー・
 カウンセリング、三者面談、毎週の確認テストと
 定期テスト）、5. CSSコース紹介（通学制&通信
 制）。是非、ご参加ください！

■ CSS（チアサポートスクール）Part 2

各教科のメソッド紹介編

（大阪・東京会場） 伊澤聡一郎&恵美・堀井卓

CSSが採用している各教科の取組メソッド（方
 法）を具体的に紹介。1. 数学（暗算テスト&体
 系数学&チェック&定期テスト）、英語（多読先
 行による4技能の育成）、国語（日本語多読/チ
 ア書籍全読プログラム・古文/文語訳聖句暗唱&
 古文多読）、世界史（聖書に立つ「世界史」（チア
 刊）等も用い、聖書的世界での歴史学習）・日本史・
 化学・生物 2. CSSコース紹介（通学制&通信
 制）。是非、ご参加ください！

■ 「月城家 荒野と約束の地への歩み」

（大阪会場） 月城 聖一&美和子

新宿で開拓、中国宣教、大阪で開拓と、主に導
 びかれ歩いていく中で、ホームスクールを通して
 家族が一つにされる。始めた頃の不安や子どもた
 ちの反抗、高慢との戦い、主との出会いによって
 主の働き人として整えられていった素晴らしい恵
 みについて、私たち夫婦と子どもたちが証しま
 す。

■ 「英語教材を使っのホームスクールのメリッ トとチャレンジ～10年の歩みを振り返って～」

（東京会場） 辻 寿&奈央子

主要科目5教科を聖書が土台になっている英語
 教材を使って10年間ホームスクールをしてきま
 した。私たち家族は100%日本人、子どもたち
 の英語圏における海外生活経験は0です。ABC
 から始めた10年の歩みの中で子どもたちの成
 長、受けた恵みとチャレンジを分かち合います。
 A.C.E.（エイシーイー）という私たち家族の使用
 している教科書についての質問も受け付けます。

■ 「低年齢化する10代の性行動の対策」

（東京会場） 辻岡 健象&敏子

神が人間に、与えてくださった“いのちと性”、
 私たちが生きていく中で、一番大切ないのちと性
 の秩序が乱れています。神のかたちに造られ、神
 の栄光を現す大切な“いのちと性”です。現代の
 性教育の誤りに対するチアにつぼんの取り組みを
 中心に、正しいいのちと性のあり方を共に考え、
 話し合い、その解決策を求めていきたいと思いま
 す。いのちと性に対する考えや理解の多様化する
 中で、世の風潮に流されず、時代をリードする生
 き方と学びを共にしたいと思えます。是非ご参加
 ください。

■ 「中島家のホームスクール」

（大阪会場） 中島 若樹&啓子

昨年は長男(19)が千葉県大学へ、長女(17)
 は大阪市内の専門学校へ入学し、中島家にとって
 大きな変化を経験した年でした。初めての学校生
 活を送る長女を朝早く送り出した後、家に残るの
 は、大人びたことをしたい次男(15)、心身ともに
 急成長中の次女(12)、遊びたい盛りの三男(9)、
 はりきり一年生の三女(7)、ママかパパといつも
 一緒にいたい四女(4)、夜泣きをする甘えん坊の
 四男(2)の6人の子どもたち。ホームスクーリ
 ングのチャレンジはまだまだ続きます。ホームス
 クールで育った上二人の子どもたちが学校に通う
 ようになって体験したことなどを中心に我が家の
 様子を分かち合います。

■「父と母と子による

ホームスクーリングの体験談」

(東京会場)

中山 史郎&薫子

私たちがホームスクーリングに至った経緯や子どもたちの成長、試練をみことばと祈りによって乗り越えてきたことや、影響を受けた本などを、父親、母親、子どもの視点からお話したいと思っています。

■「家庭でもできる、理科実験」

(大阪会場)

成田 登

家庭でもできる理科実験を、いくつかご紹介してみます。見て面白く、「なぜ?」「どうして?」という疑問が湧いてくると、学ぶことに対する意欲も違ってくるのでは。自然界の1つ1つの法則は神様によって造られ、秩序が保たれているという観点から学ぶことが出来るのは、ホームスクーリング・チャーチスクーリングの特権なのだと思います。実験レシピをお配りしますので、それぞれの家庭でも試してみてください。学習したことを、資格取得という形にしていくことも提案してみます。高認取得と合わせて、短期的な目標の1つになることと思います。

■「英語カリキュラム GrapeSEED の

効果的な学習」

(大阪・東京会場) 藤原 政信 (グレープシティー)

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネンツから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々により効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われている方々もご参

加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が契約対象ですが、チア・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をしています。(入門コース CD 2 枚組 (1000 円 + 送料) を購入いただくと、GS スタート OK です。チア事務局にお申し込みください)

■「堀井家、ホームスクール 11 年目に!!」

(東京会場)

堀井 卓&ユリ

現在、大学生、浪人生、高校、小学、幼稚園とそれぞれのステージに子どもたちがいます。現場からの報告をさせていただきます。「ホームスクーラーが大学に入ったときに陥る罠」を長男から、「大学に行くための学力の必要性」「なんのために大学を目指すのか?」を浪人 2 年目になった次男から、「友だち、この世から受ける影響」を高校 2 年の長女からそれぞれ聞き取り調査しました。また、三男、四男は、近所の友だちが多く、ホームスクールが近所で受け入れられ、近所の子どもたちにも福音を伝えられている状況をお知らせします。毎日の様子や、上手くいったこと、いかなかったことなど包み隠さずお話しします。また、我が家のホームスクールに関する質問等、できる限り答えさせていただきます。

■「成長させたのは神です

—教会とホームスクーリング」

(東京会場)

堀井 洋二

9 年前にホームスクーリングを始めたこと、4 年前に教会を始めたこと、どちらも私たちにとっては人生の節目となる出来事でした。4 人の子どもたちがみな 20 代になり、一人は結婚し、自宅が教会になり、すべてが大きく変わりました。たくさん葛藤も経験しましたが、真実な恵み深い神様によって、クリスチャンとして、夫婦として、家族として育てられてきたように感じます。チャレンジは常にありますが、家族で一つのチームとして働けることを感謝しています。振り返ると、ホームスクーリングはこのチームを作り上げるた

めのトレーニング期間だったのだなと感じます。ホームスクーラーの視点から、次世代の育成、賜物の理解、教会との関係などについて感じていることをお分かちしたいと思います。

■「育むための権威－子どもの視点から」
(大阪・東京会場) ピーター・ブロックソム

誰しも自分の子どもには幸せになって欲しいと願うものです。そのために私たちの多くが、子どもたちをスマートフォンやゲームから遠ざけ、毎週教会に連れて行くことに気を取られています。しかし子どもたちの健やかな成長のためには、私たちがどのように保護者としての権威を用いていくかが重要なのです。コロサイ 3:21、エペソ 6:4 から、公正さ、道理、そして正しさに基づいて育てるための権威を、子どもたちの視点から考えます。

“ Authority from a Child’ s Perspective”
We all want our children to become all that they can be and have a happy life. In order to achieve this, many of us focus on making sure that they stay off of their cellphones and games and are in the right Christian environment. However, for children’ s healthy development, what we really should be worrying about is how we, as parents, exercise our authority. Colossians 3:21 and Ephesians 6:4 reveal an important lesson about authority in regards to nurturing with fairness, reason, and justice as understood from a child’ s perspective.

■「子どもを主のために育てる」
(大阪・東京会場) マタイ・ブローマン

神様から授かった子どもを何のために育てるか。父（ポール・ブローマン）が残した模範に触れながら、子育ての目的、主の弟子として…皆さんと一緒に考えながら、話を進めたいと思います。

■「あれからの松本家（祈りと主に支えられて）」
(大阪会場) 松本 明&真寿美

前妻の昇天から早くも 11 年が経ちました。皆様のお祈りに感謝します。三人の子どもたちも成人し、ほっとしたのも束の間、初孫に続き、我が家には新しい命が与えられました。近況報告をさせていただきます。

■「岐路に立った時の選択 ～ エレミヤ 6:16 ～」
(大阪会場) 森山 剛&有佳子

この数年ほど、父が主導して、妻と良いコミュニケーションを築きつつ、子どもたちとも分かち合いながら導くということで、「弟子訓練プランシート」なるものを用いて、子どもたち一人一人の将来の歩みに向けた取り組みを行ってきました。その内容は、これまでチアのコンベンションやセミナー等で分かち合わせていただきました。今回は、将来のビジョンに向けて一步を踏み出して模索中の長女のことを中心に、子どもの将来に親がどうやって関わっていくべきか、御言葉とその実践を踏まえてお話させていただこうと思います。また、いよいよティーンになった長男との微妙な関係の中で、母親として教えられ、悔い改めてきたことなどもお分かちしたいと思います。

■「お受験パパがホームスクールへ」
(東京会場) 横田 英孝

深く考えず準備もそこそこで、娘が中学 2 年の時にスタートしたホームスクール。しかし、その後問題が次々と立ちはだかり、あきらめようと思った回数は、数知れず。しかし、こんな準備不足のダメダメな我が家でしたが、綱渡りのようなホームスクールでも神様は憐れみ深く、たくさんの励ましと恵みを用意しておられました。娘は高校 1 年で高校認定試験を終え、高校 2 年で軽井沢の SYME へ行きました。今は、神様が将来どのような道を用意しておられるのか、ワクワクしながら祈り求めている所です。前半は、父がホームスクーリングを通して思ったことを分かち合い、後半は娘が、軽井沢の SYME での様子や、アメリカでの短期滞在などを分かち合いたいと思います。

今年は、大阪のコンベンション会場、新しい場所へ変わります！

ホテル・ロッジ舞洲 (NEW!)



ホテル・ロッジ舞洲

〒554-0042 大阪市此花区北港緑地 2-3-75
Tel: 06-6460-6688 Fax: 06-6460-6700
<http://www.lodge-maishima.com>



アクセス【電車&バス】

- ◆ JR 西九条駅→市営バス (81 系統・舞洲スポーツアイランド行) →終点 (35 分)
- ◆ JR 西九条駅→JR ゆめ咲線桜島駅→舞洲アクティブバス『ホテル・ロッジ舞洲前』(15 分)
- ◆ 地下鉄コスモスクエア駅→コスモドリームラインバス『ホテル・ロッジ舞洲前』(20 分)

車での行き方・地図等、詳しくは ➡ <http://www.lodge-maishima.com/access>

駐車場：100 台収容可能な駐車場あり。1 台 1 日 500 円。

★ 大阪宿泊情報 ★

■ ホテル・ロッジ舞洲 ホテル棟 (会場内)

(5月19日までに、チャアにお申し込みください。それ以降は各自でのご手配をお願い致します。)

● 宿泊費 (1泊1人あたり、食事別、小学生未満・添い寝無料)

- ・ 洋室シングル (7,500 円) ・ 洋室ツイン (6,750 円) ・ 洋室 4 人部屋 (6,300 円)
- ・ 和室 10 畳 (4 人利用で 6,300 円、6 人利用で 5,500 円)
- ・ 和室 18 畳 (8 人利用で 4,800 円、10 人利用で 4,600 円)

※基本的に男女別の相部屋です。(乳幼児は別)

※人数により金額が変わりますので、上記人数以外の場合、チャア事務局にお問い合わせ下さい。

※小学生以上は、大人と同料金、小学生未満の場合は、大人と添い寝であれば、無料。

● 食事【朝】小学生以上 1,200 円、3歳から未就学 600 円【昼】1,000 円～【夜】1,200 円～

★近くにキャンプ場等もありますので、もしよければこちらもご検討下さい。

舞洲オートキャンプ場 <http://maishima-autocamp.net>

★ 東京宿泊情報 ★

■ 国立オリンピック記念青少年総合センター（会場内）

（5月26日までに、チアにお申し込みください。それ以降は各自でのご手配をお願い致します。）

【4名1室：基本的に男女別の相部屋です（乳幼児は別）】

● 宿泊費：1泊3食 3,310円 2泊6食 6,620円

【シャワー付き個室】

● 宿泊費：1泊3食 4,910円 2泊6食 9,820円

※年齢に限らず、ベッドを利用する場合は宿泊費がかかります。

※※添い寝の場合でも、レストランの規定で、3歳以上は食券代が必要です。 ➡詳しくは事務局まで

第8回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

<応募要項>

- テーマ：聖書のストーリーから題材を決め、自分のイメージを絵画にしてください。
- 部門：(1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部
(3) 中高生の部 (4) 一般の部
- サイズ：自由
- 応募方法：必ず、作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由（100文字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送り下さい。

コンベンション会場で表彰式が行われます！作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます！

第6回 聖句書道 掛け軸展

<応募要項>

- テーマ：聖書からのテーマをもとに、内容は自由。
- 対象：どなたでも
- サイズ：八つ切りサイズ
- 応募方法：作品に名前を書き、掛け軸に貼った状態でお送り下さい。

第2回 チア・にっぽん杯 写真コンテスト



【タイトル・氷点】 イエスが
悪魔と戦って帰る

昨年9歳以下最優秀作品賞：「氷点」稲葉ジョセフ

<応募要項>

- ◆ テーマ：被写体から見えてくる聖書のストーリー。素材は自由（自然、動物、人物ほか）
- ◆ 部門：(1) 9歳以下 (2) 10-12歳
(3) 13-15歳 (4) 16-18歳
(5) 19歳以上
- ◆ サイズ：A4サイズ以上
- ◆ 応募方法：必ず作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、年齢、電話番号、Eメール、写真のタイトル、その写真から見えてくる聖書のストーリー（100字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送りください。

コンベンション会場で表彰式が行われます！
作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます！

大阪コンベンション企画！ ★体の中の不思議を知ろう！動物解剖実験★

昨年より大きな動物を使用予定。交通事故等で命を落とし献体された動物を
勉強に活かすプログラムです。

今年もご参加お待ちしております！

昨年、大変好評だった「アライグマの解剖実験」。今年もNPO大阪自然史センターより米澤里美講師をお迎えします。実際に実験に立ち会えることは、貴重な学習体験と思います。献体された動物の体の解剖実験を通して、動物や私たち人間を精巧に造られた神様の素晴らしさを体験しよう！

実施日：2017年6月2日（金）午後
分科会1のチルミ二の時間帯に
子どもたち向け（2～18歳）で開催！

*米澤里美講師は、チアスタッフ米澤輝美さんのお姉さん。現在、大阪の長居にある大阪自然史博物館にて子どもたちのワークショップなどを担当し、動物や植物から学べることを人々に伝える働きをしています！



東京路傍伝道

5年前から、伊勢崎のチャーチ&ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで、足立区、葛飾区、江戸川区、荒川区と合計100万世帯以上を終え、現在、北区で伝道しています。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト&聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！（事前に必ず、ご連絡ください。）



主のご命令に従うこと、伝道！
.....

クリスチャンとは主に従う者たちです。弟子たちは主と共に伝道しました。あなたも、東京伝道に参加してみませんか。

★東京伝道★

5/3（水） 9/18（月）

（他に毎週日曜日夕方、高崎駅にて賛美と配布をしています。）

★集合場所：赤羽駅

★時間：10:00～16:00

★連絡先：

0270 - 21 - 6991（福音館）

080 - 5682 - 9726（田村）

090 - 6509 - 2178（風間）

<http://www.isesaki-fukuin.com>

★草津伝道★ 8/14（月）～16（水）
こちら詳しくは、お問合せ下さい。

★白馬セミナーアンケート Part 2 ★

11/17～19「励ましとチャレンジセミナー in 白馬」での参加者の声、第二弾をお届けします！



*****大人*****

●教育について聖書に書かれていることから、ホームスクーリングについて、子どもとの関わり方など、幅広い学びができてよかったです。このセミナーに導いて下さった神様に感謝します。今回の講演、分科会、企画どれも素晴らしかったです。（Aさん）

●初参加で子どもたちも緊張気味でしたが、最初に行われたチャンバラですぐほぐれました。2日目、部屋に来てくれたLITの最上牧

人くんに遊んでもらって、子どもたちがすごく変わりました。助けてもらってありがとう！！私も想像を超えた神様の恵みを体験しました。神様への信頼をまた学びました。感謝、感謝です。小さな子どもたちに声をかけ助けて下さった皆さんもありがとうございました。講演、分科会、企画全てよかったです。聞きたいものが沢山あり迷いました。（京都 Bさん）

●全てとても良かったです。OB・OG会という時間を設けていただき、とても感謝でした。久しぶりに同年代の子どもたちと近況を分

ち合わせ、なつかしく、よかったです。励まされました。若者たちの将来のための話が多くあり、学ぶことができ、良い時間を過ごすことができました。（Cさん）

●講師の先生方、参加されている皆さん、裏方を支えて下さるスタッフの皆様、LIT、そして稲葉さんはじめチア事務局の皆様、本当に素晴らしかったです。多くの元氣と励まし、希望を受けました。OB・OGのパネルディスカッション本当に素晴らしかったです。OB・OGの皆様、ぜひ今後も続けて来て、後輩たち、また親たち

を励まし助けて下さい。

(群馬 Dさん)

●今年初めて主人が参加してくれ、嬉しかったです。主人はクリスチャンではないですが、チアの子どもたち、チルミニの人たちの笑顔がとてもすばらしく、パネルディスカッションもとても良かったと言っていました。私も感動しました。白馬セミナー、感謝です。今回の講演、分科会、企画とても良かったです。悩みを打ち明け、アドバイス頂けたことも感謝です。(岐阜 Eさん)

●私は親ではありませんが、とても良い勉強になりました。み言葉を通して教育について教えられ、うれしかったです。どれも素晴らしかったです。ジョイスさんのメッセージは私にとって特に心に響きました。(愛知 大久保舞)

●2年振りとても楽しく家族で過ごせました。子どもたちは友達と時間を過ごし、夜寝る時間になるまでたっぷり友情を育んでいました。大人も霊的飢え渴きを満たされ、恵みの時を過ごせました。すばらしかったです。

(東京 関知香)

●ホームスクーリングへの確信と、神様の家族と共に集まったことが、本当に霊的回復となりました。神様に感謝します。とても良かったです。(群馬 金喜望)

●2年振りに息子一家と出席することが出来、とても恵まれました。今回は460?名の方々の出

席とのこと。ホームスクーリングをしている方々にお会いし、色々主にあって様々な状況の中でがんばっていらっしゃることに聖名を崇めます。基調講演、分科会各々に良かったです。稲葉師の基調講演のOB・OGパネルディスカッションの企画はすばらしく、将来の子どもたちの成長を見、とても励まされました。アメリカのホームスクールの開拓期の様子、現在の状況を知ることが出来、感謝でした。又、日本のホームスクーラーの方々は開拓期であることを教えられ、今後ますますチアにっぼんの働きの祝福をお祈りします。チアにっぼんの働きが更に日本全国に進められますように。働きの祝福を祈るばかりです。今回のセミナーのために色々な場で準備から、セミナーまでのご奉仕者に、天よりの報い、祝福を心よりお祈りします。

(兵庫 Fさん)

●初めて参加しましたが、たくさんのホームスクーラーの家族との出会いがあり、また、お話しを聞くことができ、私自身励まされ、これからも夫と共に子どものホームスクーリングをしていきたいと思いました。また、子ども(4歳の娘)が、メチャメチャ楽しんでる姿を見て、来て良かったと思います。どのよう

にホームスクーリングをしているかなど、具体的なお話をたくさん聞けて良かったです。

(東京 Gさん)

●とても励まされました。神様の命令に従い、忠実に地道にホームスクーリングをすることが大切だと改めて感じました。ホームスクーリングを続けていることの恵みに感謝です。いつも貴いお働きをありがとうございます。チアスタッフの皆様、チルミニスタッフの皆様のお働きに心から感謝しています。OB・OGパネルディスカッションが良かったです。ホームスクーリングの実を見せていただくことが何よりの励みになります。これからもOB・OGの意見を聞くことができる企画を希望し



ます。

(山形 Hさん)

●基調講演、分科会、個人の交わり全てを通して励ましとなくさめ、新しい力を頂きました。全て良かったです。尊いお働き、ただただ感謝しております。

(Iさん)

●毎回感じることですが、自らの信仰のリバイバルの時間を与えてくださって感謝です。世の企業に



遣わされ、「じわじわと」神様との距離がいつの間にか広がっていることに気づかされ、生活を直すための良い機会となっています。日本の現状、アメリカの信仰衰退の実情を聞くことができ、イエス様のため息「ああ、悪い時代だ。」を思われました。子を教えさとするのは神様のみ心なのに、まっすぐ受け取れていない自分と教会の実態に危機感を覚えます。

(神奈川 藤本泰俊)

●白馬セミナーには7年振りで参加させていただきましたが、以前参加した時のことが思い出され、感謝と感激の時間でした。15年前から知っているホームスクーリングされた人々にも会えてお互いに励まされました。次世代の人々がたくましく立てられており感謝でした。大変良かったと思います。特にOB・OG会があり、彼らの成長を見ることができ心から感謝

でした。(群馬 Jさん)

●素晴らしかったです。たくさんのOB・OGに会えたことが良かったです。イスラエルさんのお話しをもっと聞きたかったです。ホームスクーリングのためにですが、一人のクリスチャンとして必要なメッセージでした。「怒り」についてのお話もとても勉強になりました。子どもたちの喜んでいる姿は元気になります。稲葉さんの存在が嬉しい。OB・OGのディスカッションをもっと聞きたい。(励みも受け取ったけれど、自分の悔い改めにもつながりました。)久しぶりの家族にとってのふるさとみたい。この山に登れて幸せ。スタッフの方々に本当に感謝。来たくても来られなかったファミリー、今悩んでいるファミリーのため、上映された映画「ホームスクールドロップアウト」を見せてあげたいので、お願いします。私も

また何回も見たい。

(群馬 工藤由紀子)

●問題を覚えつつ、一度キャンセル後の参加でしたが、多くの恵みを受けました。海外宣教に向かわれた、喜恵さん、美香さんがいなくて寂しかったのですが、今後とも励ましを頂きながら前進してゆきたいです。イスラエル・ウェインさんのお話は、求めてきたことの答えがばっちりありました。映画や、マイクさんのお話もリンクしていてよかった。ティーンや、OB・OGの企画も、とてもとても励まされました。今後もよろしく先輩!

(大阪 谷畑しおり)

●なつかしいホームスクーラーのみんなに会えて良かったです。イスラエル・ウェインさんのお話にいつも励まされます。(Kさん)

●ウェルカムされている感じがとてもよかったです。

(群馬 セイヤーめぐみ)

●再び立ち返るポイントがはっきりと教えられた3日間でした。特に父親の役割について知ることができて本当に良かったです。あとは実践するだけです。OB・OGのパネルディスカッションがすごく良かった。

(東京 平岡真実)

●沢山の方々との交わりを持って良かったです。とてもよかったです。

(Lさん)

●親が子の為に一生懸命。愛に満ちて育ったことが分かる、まじめで笑顔の素晴らしい子どもたちでした。み言葉、聖書の学びなど、沢山有り、親子共に楽しかった。

(三重 岡本スージェン)

●非常に恵まれた素晴らしい集会と感じました。私自身はホームスクーラーではなく、その事について考えてもいませんでしたが、この集会に参加されたご家族皆が、地の塩、世の光である事を本当に感じました。

(三重 岡本泉)

****子ども****

★チルミニがすごく楽しかったです。虹が見

れたことがすごくうれしかったです。稲葉さん大好き！

(神奈川 南雲あこ 5歳)

★来年も今年のままがいいです。白馬をしてくれてありがとう。

(長野 衣笠上羽 6歳)

★面白かった。特にケチャップマンとマスタードマン。ダンスがめちゃくちゃ楽しかったので、来年も是非！LITがしてみたい。

(岩手 山下かのこ 13歳)

★今回はLITが満席で入れず、1度はやめようかと思いましたが、講演などを聞くことができとても感謝です。また、なにより、OB・OGの方のお話が一番良かったです。是非、来年以降もしていただくと励ましになります。イスラエル・ウェインさんの同窓

会記念講演は、普通の講演などでは聞くことのできない、ティーン向けのお話で、すごく分かりやすく、これからの自分の進路などのためにもなり、恵まれました。

(Mさん)

★楽しかったです。白馬でも(サマーキャンプと同じような)ベニヤ板の工作をやるようにして欲しいです。

(岩手 山下晴彦 11歳)

★とても楽しかったです。ケチャップマンとマスタードマンがおもしろかったです。

(岩手 山下希子 9歳)

★たのしかったです。うたがもっとうたいたいです。

(岩手 山下ゆり 7歳)



♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

●7歳の息子は一人っ子で、私の家族、夫の家族にも男の子はいません。何でこんなことするんだろう。何でこんなものが好きなんだろうと、理解できませんでした。でも、イスラエルさんの「クリスチャンの親がよくする失敗」(白馬セミナー2016)を聞いて、衝撃を受けました(いい意味で)。「子どもたちは、ばかなんです」大爆笑でした。そして、ストンと腑に落ちて心が軽くなりました。彼のメッセージ、楽しみにしていたので大満足です。励まされました。

今行っている教会は、チャーチスクールもあり、比較的大きな教会です。たくさんの行事があり、子どもたちのプログラムもたくさんあります。感謝なことに、地域にも、日本人で、日本語を話すクリスチャンの家庭礼拝・集会もあります。でも、家族で過ごす時間を大切にするため、お誘いを断ることが多い状況に、罪悪感や疎外感があって、苦しい感情も持っていました。でも、清野さんの「地域教会とホームスクール」を聞いて、目からうろこが落ちました。「ホームスクールの皆さん、どうぞ家族のことに集中してください。やがて家族が教会になるのです。」このメッセージに、今、与えられている道を進んでいいのだと力強く背中を押してもらったように励まされました。ジョイスさんの「罪悪感には神様のみ心ではありません。」のメッセージも、優しく心の中にこだましています。ありがとうございました。主にあって。(アメリカ Aさん)

●紹介していただいた南阿蘇のAさんとは、時々会ったりメールしたりしています。去年は、教会の子どもキャンプや、サマリタンズ・パースのパッキングパーティにも来ていただきました。出会いの機会が与えられて感謝です。また、先週、熊本市のクリスチャンのご家族(奥様が私の友達の友達)が、ホームスクー

ルを考えているので話を聞きたいと、うちに来られました。ホームスクーリングのことでうちの来られた中で、初めてクリスチャンの方で、すごくうれしく思います。チアのコンベンションに行ったらいいですよ、とお勧めしておきました。皆様の働きがますます祝福され、主の導きがありますように。

(熊本 Bさん)

●来年度から下の娘(小4)もホームスクーリングに加わることになりました。また私の妹夫婦も来年度からホームスクーリングが決まり、今月初めてBさんが主催しているホームスクーリングを考える会に参加しました。昨年一年やってみて、方向転換してよかったと心から神様の導きに感謝しています。家族の絆もより強くなりましたし、長女の勉強の意欲や聖書知識の量など、全ての面において大きな向上がありました。コンベンションの講演もとっても実践的で、できる限り学んだことを適用させてもらいました。

(宮城 Cさん)

●先日、長男の中学が卒業となり、卒業証書をいただきに二人で出向きました。三年間、月に一度のペースで、担任と、時には校長先生もいらっしゃって、10分くらいの時間ですが、「元気でやっている？」というような面談を続けてきました。一年生の時の校長先生は、最初の面談時に、「お母さんが責任とれるんですね？」と脅しに近いような感じでしたが、二年生から校長が変わり、今のような感じになりました。その校長先生もこの3月が最後で退職されるとお聞きし、担任の先生とお二人に少しでも福音に触れていただきたいと願って、チアマガジン43、44号をお渡しし、喜ばれました。(埼玉 Dさん)

♪ 結婚♪
おめでとうございます！

.....

チア・オリンピック&ジョイラ
ンニング実行委員長、また、ホー
ムスクーラーと体育の講演等で、
15年あまり、お世話になって
いる藤井一郎さんが、綾子さん
と3月18日に結婚されました。
おめでとうございます。ますま
すの祝福を祈っています！



★チア HOPE 杯 2017 の報告★



2月27日、第5回チアHOPE杯2017が
行われました。長野からも含め50名ほどが集ま
り、楽しく感謝なひと時を過ごしました！ドリ
ブルやシュートコンテスト、紅白戦、お母さん
たち同士の迫力ある戦いに、会場が盛り上がり、表彰
式では皆の健闘を讃え合いました。

最後は茶菓を囲んでの交わりのひと時。6年
間のチアHOPEの活動が守られたことを主に感謝
しました！また、これまで関わってくださったチ
アにつぼんやホームスクーラーのたくさんのお祈
りとサポートにも心から感謝しています。これか
ら、どうぞチアHOPEの活動のためにお祈り
くださると嬉しいです。

マガジン43号・44号（法案特集号）特別ディスカウント
& 国会議員贈呈封筒・書類プレゼントのお知らせ

43号・44号 定価1冊 648円 → 150円へ！（2017年5月末まで）

● 43号：	冊×150円＝	円	● 44号：	冊×150円＝	円
● 封筒 / 書類	部(無料:封筒・書類のみもOKです！)	計		円	(送料別)
氏名：			電話番号：		
住所：〒					

※ 通常5,000円未満の場合は送料400円がかかります。(沖縄・北海道は別)

※ 商品発送時に、郵便振替用紙を同封しますので、チアにつぼん 00190-3-35461 までお振込み下さい。

➔ Email:office@cheajapan.com FAX:03-6862-8648 TEL:042-318-1807

チア・にっぽん カレンダー

- CSS わくわく勉強合宿 (定員 40 名)
5月4日(木)～6日(土)
*今回 CSS 生向け集中勉強合宿ですが、
ご希望の方は参加 OK。
チア・オフィスまでご連絡ください。
- チア・コンベンション 2017
6月2日(金)・3日(土) 大阪
◇ New! ホテル・ロジ舞洲
6月9日(金)・10日(土) 東京
◇ オリンピック記念青少年総合センター
- チア・サマーキャンプ 8月中旬
- わくわく勉強合宿 (定員 120 名予定)
ジョイスイミング 9月中下旬
- チア・オリンピック 9月下旬
- チア・白馬セミナー 11月23～25日

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P
定価：本体 2,000 円 + 税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

<本の内容>

- 序文 発達障害や精神障害の治療を願って
- I. 発達障害から良くなった子供たち
 - II. どのように治療をするのか
 - A. 治療の枠組みと方法
 - B. 発達障害についての私たちの立場
 - C. 発達障害の治療への取り組み
 - D. 治療方法の説明
 - III. 治療に必要な知識や理論
 - A. 身体の形成と栄養の補給
 - B. 障害への対応の基礎知識
 - IV. 統計、よくある質問、索引
 - A. 発達障害検査統計
 - B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ
Tel : 043-207-6035 Fax : 043-207-6036
メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

【1月会計】

収入	
献金	2,290,000
書籍・教科書	62,693
会費	18,000
広告	332,685
DVD/CD、ビデオ等	47,852
その他	5,452
2,756,682	
支出	
事務局経費	2,657,508
通信運搬費	70,533
交通費	38,362
印刷費	0
DVD & 商品仕入費	7,640
2,774,043	
残高	-17,361
前期繰越	70,978
翌期繰越	53,617

【2月会計】

収入	
献金	1,562,434
書籍・教科書	328,446
会費	77,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	111,757
その他	10,188
2,119,825	
支出	
事務局経費	1,502,068
通信運搬費	76,218
交通費	212,128
印刷費	338,144
DVD & 商品仕入費	15,716
2,144,274	
残高	-24,449
前期繰越	53,617
翌期繰越	29,168

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com